



瀬戸内における

水環境を基調とする海文化

瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み

令和元年10月

公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

瀬戸内における水環境を基調とする海文化
(瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み)

目 次

	頁
はじめに	1
1. 瀬戸内の多様な海・浜辺	
(1) 自然公園	2
(2) 親水空間としての海・浜辺	4
(3) 自然景観資源としての海・浜辺	5
2. 海・浜辺の保全の取り組み	
(1) 海・浜辺の保全に向けた施策	20
(2) 海・浜辺の保全の取り組み事例	29
(参考資料)	
瀬戸内の海・浜辺に係る主な自然景観百選等の事例紹介 ...	69
海・浜辺の保全の取り組みに参考となる資料一覧	70

はじめに

瀬戸内は、我が国のみならず世界においても比類ない美しさを誇り、自然景観と文化的景観を併せ持つ景勝地である。瀬戸内の景観は、古来より精神的なよりどころである名所、旧跡等伝統的な風景地としてとらえていた。近世以降になると、瀬戸内を往来した外国人からの称賛を契機に、多島海美、白砂青松などの優れた自然景観と、街並み、神社仏閣、棚田風景などの文化的景観が一体となった視覚を大切にしたい捉え方に変わり、日本最初の国立公園の指定など、その優れた景観を保全する取り組みが行われてきた。

しかしながら近年は、特に「海・浜辺」については高度経済成長に伴い拡大した埋め立て事業・人工海岸や海ごみの増加等により、場の消失・衰退、景観的な悪化や生息する生物への悪影響を招き、瀬戸内で暮らす人々の日常生活で深くかかわってきた身近な風景、生き物の大切さを教えた情操教育の場、海水浴などの療養・レクリエーションの場が失われてきた。

かつてあった良好な「海・浜辺」の保全と再生を図るため自然公園法や海岸法など法制度の見直しやガイドラインの策定など国、自治体を中心にハード・ソフト対策が行われ、瀬戸内海環境保全基本計画では自然公園等の保全や海ごみ対策の推進が盛り込まれている。

今回は瀬戸内の「景観」のうち自然景観である「海、浜辺」について、そのすばらしさを海水浴場等利用の面も含め紹介するとともに、その「海、浜辺」がどのようなものになったのかを反省し、今日の持続可能な開発目標（SDGs）で示されている持続可能な自然との関係性を築いていくという視点から、直接的な場の創造・再生も含め「海・浜辺の保全の取り組み」を紹介する。

「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」の一つとしての「海・浜辺と保全の取り組み」を紹介することにより、「豊かな海の確保」に向けてこれから海・浜辺で保全の取り組みをはじめ、又は既に取り組んでいる関係者へ参考となれば幸いである。



瀬戸内の代表的な多島海美（塩飽諸島）

1. 瀬戸内の多様な海・浜辺

瀬戸内の景観については、造詣の深い奈良県立大学名誉教授の西田正憲氏が「穏やかな海に無数の島々が浮かぶ内海多島海景、川のように潮が流れる瀬戸景観、四国の冠雪の山並みや沿岸の奇妙な形の山々の山岳景観、自然海浜や白砂青松の海岸景観、社寺や城と一体となって自然にとけこむ集落景観、山あいの湾曲する入江にたたずむ港町景観、繊細な段々畑や傾斜畑の農業景観など、瀬戸内海は自然と歴史と文化が渾然となった重層的で多様な風景をみせてくれる。」と表現している通り、自然景観と文化的景観が織りなす多様な景観資源を有している地域である。この多様な景観の捉え方について同氏は「古代から中世の歌枕や近世の名所旧跡が多く、これらの伝統的風景観が累積していた。しかし、欧米人が日本を訪れ瀬戸内海を称賛し、西欧文明の元に生まれた近代的風景観をもたらした。」とあり、明治以降に人々がそのすばらしさに気付き始めたとのことである。

その瀬戸内を代表する多島海景は、当初は海岸などから眺めたシーン景、やや高所から眺めたパノラマ景、海上の船から眺めるシークエンス景としてとらえられたものが、昭和初期には鷺羽山等の高所から眺めるパノラマ景への転換を脇水鐵五郎や田村剛らが推奨し、瀬戸内海国立公園の誕生につながっている。

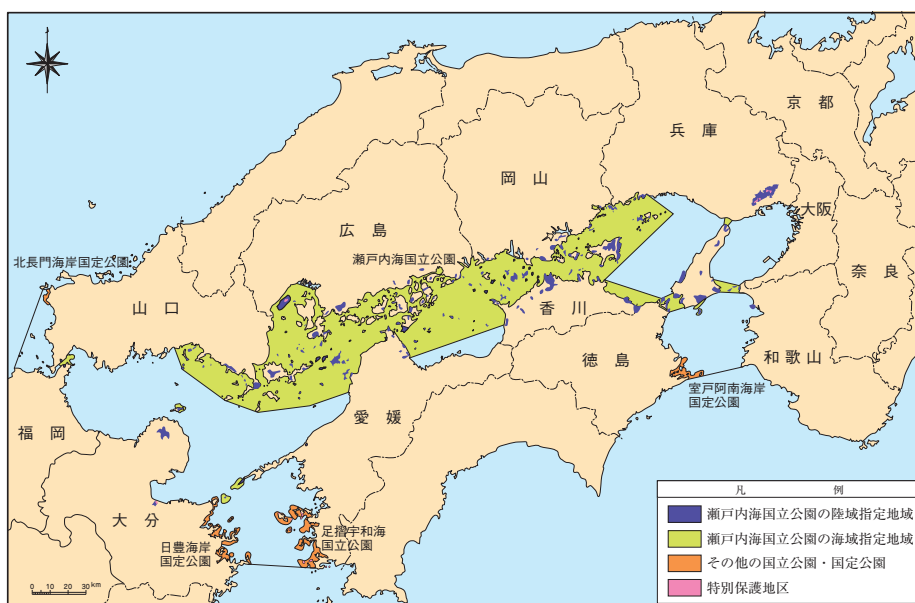
今回はこの瀬戸内の多様で豊かな景観資源のうち自然公園や親水空間などの自然景観について紹介し、集落、港町、農業等の文化的景観は次回紹介することとする。

(1) 自然公園

自然公園には、環境大臣が指定する国立公園・国定公園、都道府県知事が指定する都道府県立自然公園があり、いずれも自然環境の保護と快適で適正な利用が推進されている。

瀬戸内では指定範囲に海・浜辺がある自然公園は、環境省が管理する瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、府県が管理する日豊海岸国定公園、国東半島県立自然公園、豊後水道県立自然公園（以上大分県）、佐田岬半島宇和海県立自然公園（愛媛県）、室戸阿南海岸国定公園（徳島県）、西有田県立自然公園、白崎海岸県立自然公園、煙樹海岸県立自然公園（以上和歌山県）がある。

国立公園と国定公園の配置図を図1-1に示す。



注：国立及び国定公園を図示。
出典：環境省資料より作成

図1-1 瀬戸内の主要自然公園配置図

1.瀬戸内海辞典、南々社、2007年、p.142

2.「瀬戸内海における多島海景の変遷と脇水鐵五郎や田村剛の視覚」ランドスケープ研究 1966年 60巻 5号 p.425-430

瀬戸内海国立公園

1934 年に雲仙や霧島とともに我が国初の国立公園として指定され、数度にわたる区域の見直しを経て、陸域面積が約6万7千ha、海域を含めた総面積が約90万4千haに及び1府10県にまたがる日本一広大な国立公園である。

瀬戸内一帯は早くから文化が栄え、人と自然とが共存してきた地域であり、島々の段々畑や潮待ちの港町など、自然と暮らしが一体となった親しみやすい景観が特色の1つである。原生林などの大自然はないが、大小合わせて1,000あまりに及び島々が点在する「多島海景観」を特徴としており、

それらを眺められる展望地が多数存在する。海域は灘や湾の広い海域と瀬戸や海峡の狭い水路が繋がった複雑な構造であり、潮の干満差が大きく、鳴門海峡、来島海峡、音戸の瀬戸などでの渦潮が有名である。また、沿岸部や島嶼部に多い花崗岩の浸食により生みだされた白砂と防風砂防のため植えられた松林が美しい「白砂青松」が多いのも特徴である。沿岸地域にはアカマツ、コナラ、ツツジ類などの二次林が大部分を占め、砂浜の海岸ではハマゴウなどの海浜植物がみられる。

このような自然景観や豊かな生物多様性を保全するため、国等と民間関係団体等が連携し、野生動植物の保護、景観保全等の取り組みが行われると共に、自然観察会など自然とのふれあいの場を提供する事業や、公園内の利用拠点の設備整備を図っている。

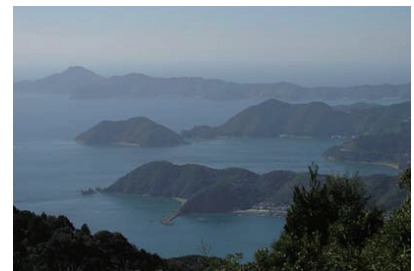


塩飽諸島

足摺宇和海国立公園

1955年に足摺国定公園として誕生し、宇和海や海中公園地区の追加指定を経て、1972年に足摺宇和海国立公園となった。本公園は四国南西部の島嶼を含む沿岸部と、内陸部の標高1,000m級の山々から成る変化に富んだ景観が特徴である。

瀬戸内海に属する宇和海地域は、典型的なリアス式沈降海岸で繊細な入江と島嶼景観が魅力であり、多島海景観や断崖、洞窟などが見られる。



宇和海
(出典：環境省 HP)

室戸阿南海岸国定公園

徳島県阿南市の橘湾北端から高知県室戸市西端の羽根岬までの約200kmに及び国定公園で、内陸部の指定地は全く存在しない純粋な海岸公園として、1964年に指定された。このうち瀬戸内海区は橘湾の南端に位置する蒲生田岬東端までとなる。

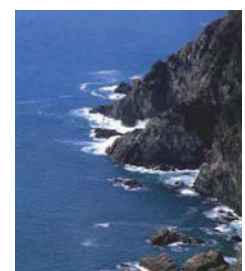
橘湾は沈降によるリアスの多島海岸で10余の小島が点在する。蒲生田岬は四国最東端の岬で灯台からの眺望は素晴らしく、晴れた日には遠く大鳴門橋、淡路島、和歌山県まで望むことができる。



蒲生田岬
(出典：徳島県観光情報サイト)

日豊海岸国定公園

大分県の佐賀関半島東岸から、宮崎県的美々津海岸に至る約120kmのリアス式海岸地域で、1974年に指定された。このうち瀬戸内海区は佐伯市の鶴御崎東端までとなる。佐賀関半島、楠屋崎、四浦半島、鶴見半島の四つの半島が突出し、多島海景観を示すとともに鶴見半島の先端に位置する離島、大島にある「壇の窓」という大きな海蝕洞をはじめ、海食景観が雄大である。



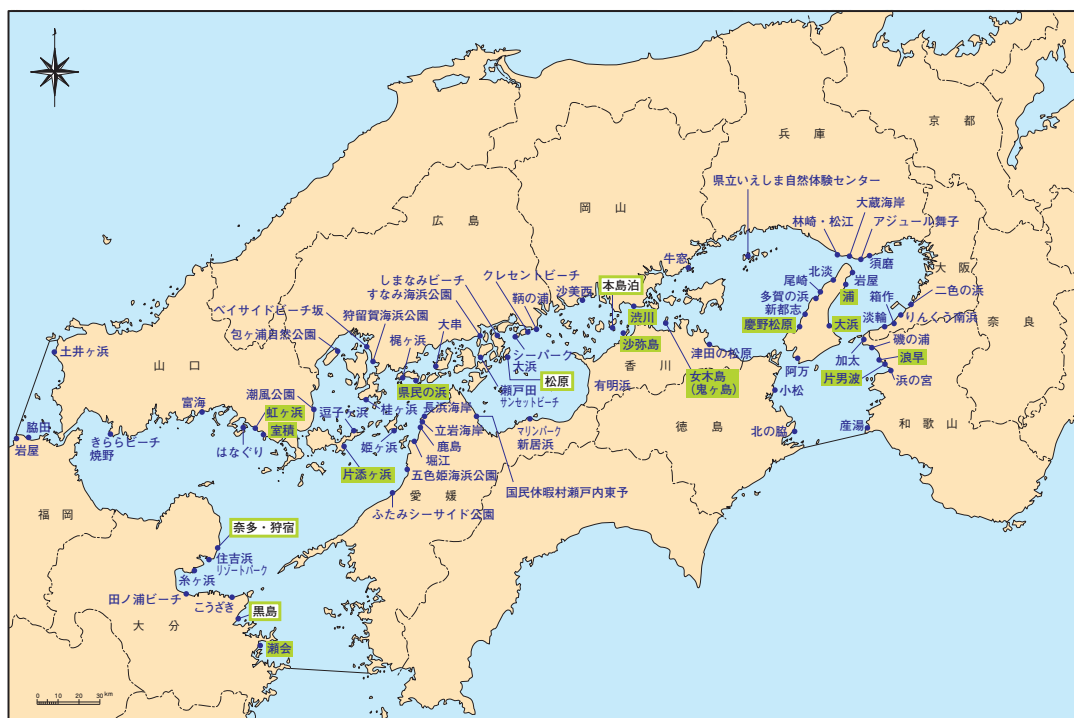
リアス式海岸
(出典：大分県 HP)

(2) 親水空間としての海・浜辺

瀬戸内は、比較的波穏やかで海水浴が楽しめる白砂の海浜や磯遊びが楽しめる浜辺・干潟・岩場が点在し、景勝の地であるとともに、レクリエーションの場としても沿岸地域住民に限らず多くの人々に利用されている。

海水浴は、海水に浸かって病気を治療する療養として始まったと言われており、明治に入って西洋医学が導入されてから、本格的に医療の一環として考えられるようになり、瀬戸内でも1880年に岡山県倉敷市の沙美海岸に療養施設が作られたのが最初といわれている。

その後行楽としての要素も加わり、瀬戸内一円に多くの海水浴場が開設され、環境省が選定した「快水浴場 100 選」にある 17 か所も含め、現在約 120 か所を超える海水浴場があり、年間 400 万人超が利用している。(主な海水浴場は図 1-2 参照)



注：2016 年度の利用者が 1 万人以上の水浴場。(但し、黒字に緑枠は除く)
出典：「水浴場水質調査結果」(環境省、2017 年 7 月より作成)
緑塗及び黒字に緑枠は「日本の快水浴場百選」に選定された水浴場

図 1-2 瀬戸内の主要海水浴場の位置図

近年では、親水空間である海・浜辺に親しむ海のレジャーとして、海釣り公園の整備やプレジャーボートの普及により、瀬戸内一円で魚釣りが盛んに行われている。また波穏やかな瀬戸内ならではのヨット、ウィンドサーフィン、スタンドアップパドルボード SUP (サップ) 等のマリンスポーツやシーカヤックで沿岸を移動しながら豊かな自然景観や文化的景観を楽しむツアーなども盛んに行われるようになった。

これら海水浴場をはじめとした親水空間としての海・浜辺の利用を促進していくため、国、自治体、住民、企業等が連携して、ユニバーサルデザインを考慮したふれあえる拠点づくり、安全に近づく「みち」、わかりやすい「標識」の整備等を進めている。

(3) 自然景観資源としての海・浜辺

瀬戸内には多様な自然景観資源があり、①高所から眺める多島海美、島の間で起こる急潮・渦潮が見られる瀬戸、②周辺の花崗岩が浸食され沿岸に堆積した白砂の渚や松林が続ぎ、海水浴にも利用される渚・白砂青松、③沿岸流と波の作用によりできた砂州や波の激しい浸食によってできた海食崖、海食洞などの特異地形・地質、④一旦失われた自然海岸を人の手を加え、保全・再生した養浜、離岸堤、緩傾斜護岸等の半自然海岸・人工海岸の4つの視点で紹介する。

多島海美・瀬戸

多島海である瀬戸内には外周 0.1km 以上の島が 727 あり、それ以下も含めると約 3,000 の島嶼があるといわれている。

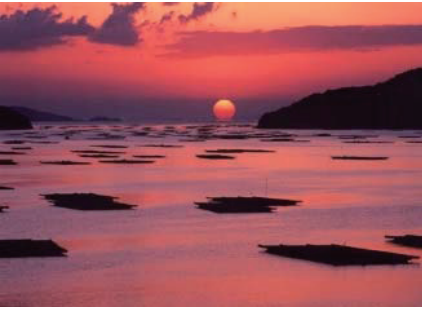
多島海として大きく5つのエリアで分けると、小豆島・家島諸島のある東部、塩飽諸島・直島諸島等がある備讃瀬戸、芸予諸島がある中部、防予諸島がある西部域及び宇和海がある南部となる。

その多島海美が眺められる展望地は牛窓（岡山県瀬戸内市）、野呂山（広島県呉市）、屋島（香川県高松市）など、各地に数多く点在し、折り重なる島々のパノラマや、島々の間を行き交う船、日の出、落日など多様な風景を楽しむことができる。これらの展望地を保全するために施設の整備や視界確保のための取り組みが行政や民間団体等関係者で行われている。

その島々や陸地との間には、5か所の海峡、22ヶ所の水道及び71ヶ所の瀬戸があり。代表的な場所として、淡路島と四国の間の鳴門海峡は 10 ノットを超える急潮による渦と大鳴門橋が、響灘と安芸灘を繋ぐ瀬戸内海の要衝の来島海峡は、鳴門に次ぐ渦潮と来島海峡大橋が見られる。その急潮や渦潮を体感することができる観光船や、周辺の景観を合わせて見学するクルーズ船で楽しむことができる。

紹介したい主な多島海美・瀬戸を表 1-1 に記載した。

表 1-1 多島海美・瀬戸の紹介

府 県	名 称 (所在地)	概要・特徴
岡山県	恋人の聖地・牛窓 (岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓)	牛窓は、瀬戸内海の多島美を臨む風光明媚なのにびりリゾート地として知られ、『恋人の聖地』に認定されている。牛窓で一番高い丘陵には成木約 2,000 本のオリーブ樹が育てられている牛窓オリーブ園があり、ここからの景色は、オリーブのやわらかな緑の葉越しに、瀬戸内海の多島美を眺めることができ、その景観は『日本のエーゲ海』とも称されている。 
	日本の朝日百選・虫明迫門の曙 (岡山県瀬戸内市邑久町虫明)	虫明港より東方に見る、島と島の間から牡蠣筏が浮かぶ海に昇る朝日は『迫門の曙』と呼ばれ、荘厳な景観を生み出している。迫門の曙は平安時代に平清盛の父・忠盛が和歌に詠むなど古くからの名勝で、日本の朝日百選に認定されている。迫門の曙が見られる頃には遠方より数多くのカメラマンが訪れている。 

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
広島県	野呂山 (広島県呉市川尻町)	呉市最高峰の野呂山（標高 839m）は、瀬戸内海国立公園の中でも屈指の眺望を誇る山。中腹にあるハチマキ展望台や山頂付近のかぶと岩展望台からは眼下に広がる川尻の町並みや安芸灘に浮かぶ島々、遠くは四国の山々までが一望できる。山のいたるところに桜やツツジなどの花々が咲き誇り、訪れる人を楽しませてくれる。 
徳島県	鳴門海峡 (徳島県鳴門市)	鳴門海峡は世界三大潮流のひとつに数えられ、「鳴門の渦潮」は世界に誇るべき自然遺産であり、観光資源である。鳴門市では「鳴門海峡の渦潮を世界遺産に！」を合い言葉に、観光資源のブランド化に積極的に取り組んでいる。また、鳴門海峡周辺の観光地が集積するエリアである「鳴門公園」は瀬戸内海国立公園に指定されており、毎年多くの観光客が訪れている。 
	蒲生田岬 (徳島県阿南市椿町)	四国最東端の岬で灯台からの眺望は素晴らしく、晴れた日には遠く大鳴門橋、淡路島、和歌山県まで望むことができる。波と風をモチーフにした石のモニュメント「波の詩（うた）」が設置されており、ハートをイメージした空洞からは伊島や水平線を望むことができる。 
香川県	屋島 (高松市屋島東町・屋島中町・屋島西町・高松町)	高松市北部に位置する溶岩台地。元々島であったものが塩田開発などを経て埋め立てられて陸続きとなる。国史跡及び天然記念物に指定されている。頂部は南北に分かれ、それぞれ南嶺・北嶺と呼称される。両者は細い尾根で接続する。北端の長崎鼻には古墳時代中期の海上交通に関連した首長のものと考えられる長崎鼻古墳が認められ、山頂には飛鳥時代の古代山城の遺構が残るほか、屋島及びその周辺は源平合戦の屋島の戦いの古戦場として知られる。北嶺の先端からは瀬戸内の多島海を望むことができる。 
	屏風ヶ浦 (多度津町)	真言宗の開祖「弘法大師（空海）」ゆかりの地である、海岸寺に隣接する海岸。屏風ヶ浦とは、海側から見た「天霧山」「弥谷」などの山々が屏風を立てたように見えることから名づけられた。 四国別格二十霊場の第十八番札所である海岸寺は「病気封じと幸運の寺」として知られ、本坊は 807 年に弘法大師が開山したといわれている。奥之院には弘法大師生誕にちなんだ産鹽（うぶだらい）などがあり、眼下には多島美が広がる瀬戸内海が一望できる。  

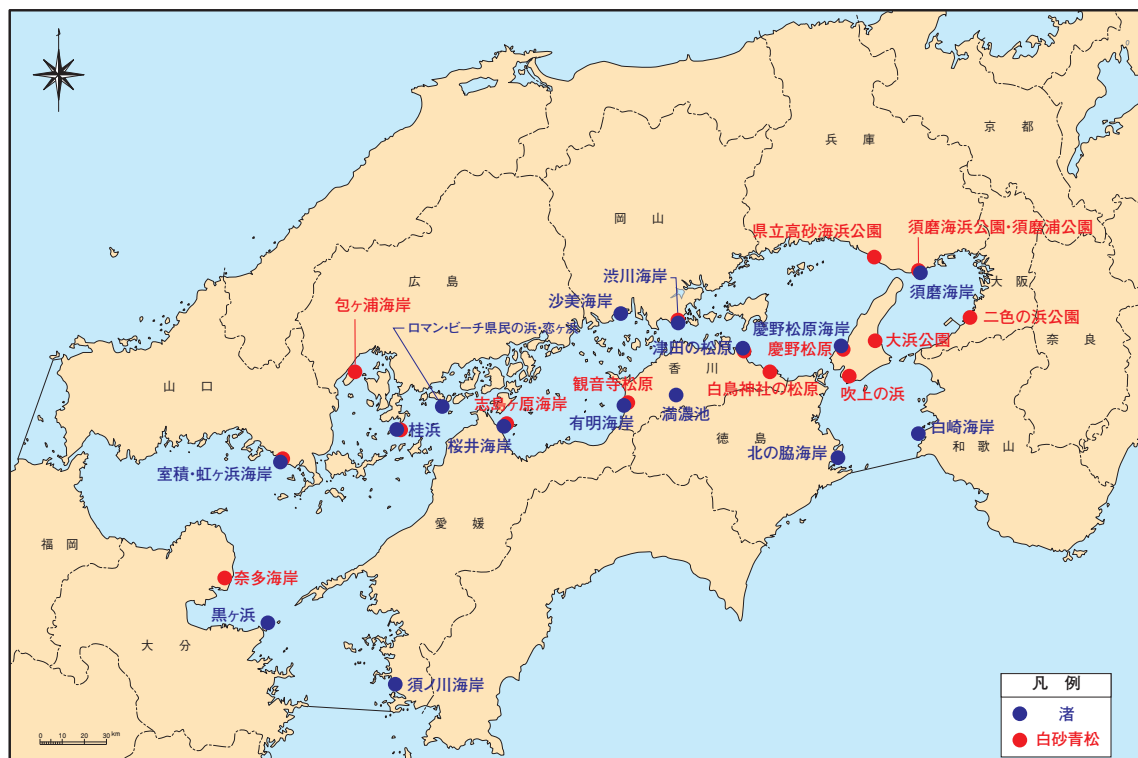
府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
愛媛県	芸予諸島 (瀬戸内海西部に位置する諸島。広島県と愛媛県に属する。)	瀬戸内海西部に位置する諸島。芸予諸島近海は「日本のエーゲ海」とも呼ばれ、多島からなる景観が高く評価されている。新鮮な魚や柑橘、郷土料理など多くの観光資源を有し、また、日本遺産「村上海賊」の城跡の残る地域では、かつては「天然の要塞」と呼ばれていた激しい潮流を間近に体験することもできる。 
大分県	関崎海星館 (大分市佐賀関 4057-419)	関崎海星館は大型の天体望遠鏡で太陽や星を観察できるほか、展望室からは、眼下の関崎灯台に続き、関あじ関さばの漁場となる潮流渦巻く早吸の瀬戸（はやすいのせと）、ウミネコの南限営巣地の高島、さらに四国まで息をのむ大パノラマを見渡すことができる。また、敷地内では季節ごとにスイセンやアジサイ、海を渡る蝶のアサギマダラを観ることができる。 

渚・白砂青松

波穏やかな瀬戸内は白砂青松に代表される白砂の浜辺が続く美しい景勝地が多数みられ、「海の日」が制定されたことを記念して選定された「日本の渚 100 選」には 15 か所が、また、21 世紀に引き継ぎたい白砂青松として選定された「白砂青松 100 選」にも 15 か所が選定されている。日本の名勝地としても選定されている慶野松原（兵庫県南あわじ市）、室積・虹ヶ浜（山口県光市）などがクロマツ林の白砂青松の海浜として知られている。（図 1－4 参照）

海浜の陸側には、クロマツの他、アカマツの二次林や一部では自然植生のウバメガシ林等の海岸林、ハマゴウ、ハマヒルガオ、コウボウムギ等の海浜植物が分布し、白砂と緑の植生を合わせた自然景観を楽しむことができる。

紹介したい主な渚・白砂青松を表 1－2 に記載した。



出典：「日本の渚 100 選」（日本の渚・中央委員会選定、1994 年）より作成
「日本の白砂青松 100 選」（社）日本の松の緑を守る会選定、1996 年）より作成

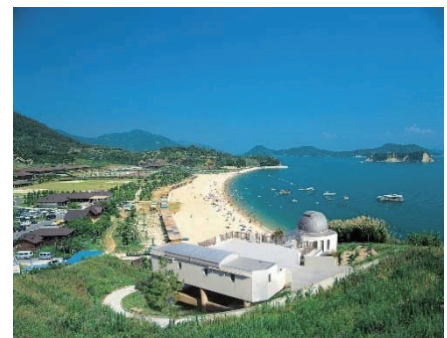
図 1－4 瀬戸内海の主な海浜

表 1－2 渚・白砂青松の紹介

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
和歌山県	西広海岸 (和歌山県有田郡広川町西広)	西広海岸は西有田県立自然公園の中に位置している。風光明媚な海岸線に恵まれ、遠浅の美しい砂浜が広がり、すぐれた景観を有している。また、県内最大級の前浜干潟であり、この干潟を渡りの中継地とする鳥類や、遠海性海鳥の越冬も記録されている。 「和歌山の朝日・夕陽百選」にも選ばれており、夕暮れ時には水辺線に沈む美しい夕日を見ることができる。 

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
和歌山県	磯の浦海岸 (和歌山県和歌山市磯の浦)	ハマヒルガオ等の海浜植物も多くみられる、自然あふれる海水浴場。 大阪から一番近いサーフィンスポットとして、初心者から上級者まで幅広く親しまれている。海水浴期間中は、サーフポイントと遊泳区域をエリアで区別している。 
大阪府	二色の浜 (大阪府貝塚市澤)	大阪府内随一の海岸で、白砂のビーチが約1キロメートルにわたって続いている。白い砂と青い海、松林の緑のコントラストが美しく「日本の白砂青松 100 選」に選定されている。春は潮干狩り、夏は海水浴で多くの人で賑わっている。また、海に沈む夕陽が美しく、NPO 法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会により「日本の夕陽 100 選」にも選定されており、日中とは違った風情を感じることができる。 
兵庫県	大浜海岸	白い砂浜に、洲本大浜の千本松と呼ばれる黒松が生い茂る白砂青松の大浜海岸は「快水浴場百選」「日本の白砂青松 100 選」に選ばれるなど、美しい海岸として知られている。近年黒松が減少傾向にあることから、毎年植樹が行われている。 
	慶野松原	約2.5kmの砂浜沿いに5万本近い黒松が生い茂る、瀬戸内海随一の白砂青松が広がる景勝地である。国の名勝や瀬戸内海国立公園(指定区域)に指定されており、「快水浴場百選」「日本の白砂青松 100 選」「日本の渚百選」「日本の夕陽百選」に選ばれ、柿本人麻呂の歌にも詠まれている。 
岡山県	沙美海水浴場 (倉敷市玉島黒崎)	日本最古の海水浴場で、「日本の渚百選」に選定された。平成元年には西浜が「人工海浜」となり、夏には毎年多くの海水浴客が訪れる。瀬戸内の穏やかな風景の中で海水浴を楽しむことができる。 

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
岡山県	カブトガニ繁殖地 (岡山県笠岡市)	かつて笠岡湾の周辺には広大な干潟が広がり、多くのカブトガニが生息していたが、笠岡湾干拓以降、海の環境が変わり、カブトガニは激減している。 カブトガニは、カニというよりむしろ、クモ・サソリに近い動物で、約 2 億年前の中生代に現在のような姿形となり、その後ほとんど変化していないため「生きている化石」といわれる。干潟のある湾内を主な生息地とし、地元では「どんがめ」とも呼ばれる。日本では、カブトガニは瀬戸内海と九州北部に生息しているが、近年は各生息地でカブトガニが減少しており、種の存続が危ぶまれている。 昭和 46 年に現在の区域が国の天然記念物に指定され、また、笠岡市は平成 15 年 7 月に「カブトガニ保護条例」を制定し、カブトガニ繁殖地内でのアナジャコ掘りや潮干狩りなどを禁止するなど、生息環境の保全を図っている。
広島県	桂浜 (広島県呉市倉橋町)	倉橋町の中央火山の西麓に、濃い緑の松林と白砂の海岸が続く。かつて遣新羅使・大石蓑麻呂がここに仮泊し、8 首を詠んで「万葉集巻十五」に収めたといわれる古くからの景勝地で、歌碑「万葉集遺跡長門島之碑」も残っている。「日本の白砂青松 100 選」「日本の渚・百選」に選ばれ、歌に詠まれた絶景は、今も昔と変わらぬ風趣を保っている。
	県民の浜 (広島県呉市蒲刈町)	蒲刈町の南東部に位置する県民の浜は、海水浴やシーカヤックなどのマリンスポーツを楽しむことができる。美しい砂浜と澄み切った海水が広がる海岸は、国が選定する快水浴百選や日本の渚百選にも選ばれ、夏になると多くの海水浴客で賑わっている。周辺には宿泊施設や温泉施設、天体観測館や古代土器製塩体験施設なども整備され、様々な体験ができる。
山口県	片添ヶ浜海浜公園 (山口県周防大島町)	瀬戸内海国立公園内に位置し、豊かな自然・緑に囲まれた浜辺は総延長約 1.2km におよび、「快水浴場百選」の選定を受けている。 浜辺一帯には、ワシントンヤシやフェニックスの植栽が立ち並び、附帯施設等においても周辺の自然環境とよく調和している。
山口県	室積・虹ヶ浜海岸 (山口県光市室積)	瀬戸内海国立公園内に位置し、約 5 km にわたってゆるやかに弧を描く白砂青松の海岸が続く美しい海水浴場は、「日本の名松 100 選」「森林浴の森日本 100 選」「日本の白砂青松 100 選」「日本の渚百選」「極めて良好な水浴場」「日本の水浴場 88 選」「快水浴場百選」の選定を受けている。



府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
徳島県	小松海水浴場 (徳島県徳島市川内町)	徳島市の吉野川河口にある海水浴場。小松海岸とも称され、毎年7月中旬に海開きがある。徳島市内唯一の海水浴場として親しまれており、サーフィン等のマリンスポーツも盛んに行われている。 
	北の脇海水浴場 (徳島県阿南市中林町)	年間およそ10万人が訪れる徳島県最大級の海水浴場で、「日本の渚百選」の一つに選ばれている。きれいな水と遠浅、広大な松原と約2kmにも及ぶ長い砂浜は、西日本随一。シャワー、休憩室などの施設が整っており、快適に海遊びが楽しめる。 
香川県	女木島海水浴場 (香川県高松市女木町)	瀬戸内海国立公園内に位置する周囲約9kmの女木島にある。青く澄んだ海は透明度が高く、整備された砂浜は柔らかい白砂になっている。環境省の「快水浴場百選」にも選定されており、波も穏やかである。対岸に位置する、高松市のベイエリア「サンポート高松」や、源平古戦場「屋島」が一望できるなど、水質はもちろんのこと、景観にも優れた海水浴場である。 
	琴弾公園・有明浜 (観音寺市八幡町・有明町)	瀬戸内海国立公園に含まれ、「日本の渚100選」、「日本の白砂青松100選」にも選ばれている。遠浅の砂浜はかつて「東洋一の海水浴場」とうたわれ、多くの海水浴客で賑わった。2kmにわたり白い砂浜が続き、県内では見ることが少なくなったたくさんの海浜植物があり、「有明浜の海浜植物群落」として市の指定文化財になっている。 
	父母ヶ浜 (三豊市仁尾町)	約1kmのロングビーチを誇る穏やかな海水浴場。毎年夏には多くの海水浴客が訪れる。瀬戸内海の燧灘に沈む夕日が美しく、絶景スポットとして知られている。平成30年8月には、じゃらん「行ってみたい夕日絶景」アンケートで1位に選ばれた。 

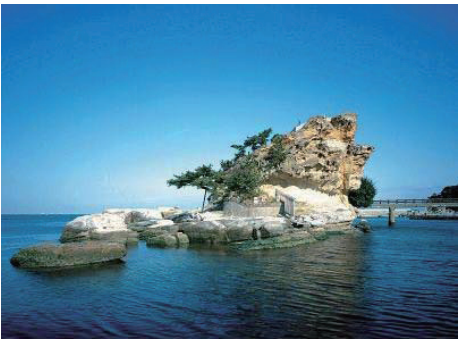
府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
香川県	ナカンド浜 (坂出市沙弥島)	沙弥島は、番の州工業地帯の埋め立てにより陸続きとなった島。古くから、柿本人麻呂が立ち寄り詠んだ歌などが伝わっており、万葉の時代から今でもかわらない美しい景色が堪能できる。島北部にあるナカンド浜では眼前に瀬戸大橋が見え、自然と人工物の織りなす景色を楽しむことが出来る。縄文土器が出土するほか、弥生時代から古墳時代にかけての製塩遺跡であり、その良好な残存状況から県の史跡指定を受けている。 
	津田の松原・琴林公園 (さぬき市津田町津田)	「日本の渚百選」にも選ばれた白砂青松の景勝地。紺碧の海、白い砂浜、緑輝く松林、県立公園に指定されたのち、瀬戸内海国立公園として重ねて指定を受けた「琴林公園」。江戸時代の初期に岩清水八幡宮の防風林として植えられたのが始まりとされている。白砂の浜と黒松林のコントラストが美しい景勝地で、樹齢 600 年を超える老松をはじめ、根上がりの松等が約 1km にわたって続く。夏には県下最大の津田の松原海水浴場となり、毎年 13 万人の県内外からの海水浴客で賑わっている。 
愛媛県	唐子浜 (愛媛県今治市古国分 1 丁目)	唐子浜海水浴場を含む約 8km の海岸は日本の渚 100 選にも選ばれた白砂青松の美しい海岸。夏は最も人気の高い海水浴場となり、若者達で賑わい、マリンスポーツも盛ん。隣接している赤灯台は、以前来島海峡にあったもので、現在はシンボルとして残されている。 
	松原海水浴場 (愛媛県越智郡上島町)	白浜青松の言葉がぴったりの風景が広がる弓削島の名勝地「法王ヶ原」の森林の東側に海水浴場。松林の背後に美しい砂浜が弧を描き、水質もよく「快水浴場百選」に選定されている。キャンプ場もあり気軽にアウトドアが楽しめ、遠く中国地方から海水浴に来られる人も多い。 

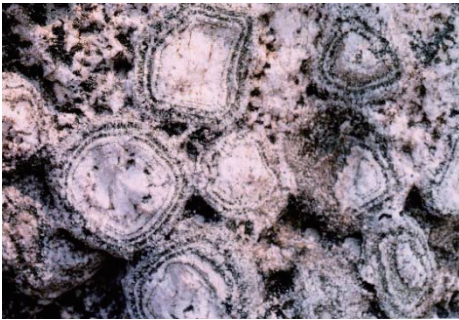
特異地形・地質

瀬戸内は湾や灘と呼ばれる広い海が狭い海峡（瀬戸）によって結ばれている複雑な地形の海であり、海的作用による特異な地形が各所に見られる。開析谷が沈水した沈水リアス式海岸、河川から運ばれた砂礫が沿岸流と波的作用により運ばれ細かく突き出した砂嘴・砂州、それらと島が繋がった陸繋島、浸食作用によって切り立った崖になった海食崖、その崖が波により浸食されてできた海食洞、その他地殻変動による地層の隆起による岩盤や、特殊な鉱物を含む奇岩、千古の原生林で覆われた島等、数多くの特異地形・地質を楽しむことができる。

紹介したい主な特異地形・地質を表1－3に記載した。

表1－3 特異地形・地質の紹介

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
和歌山県	たてこ 立巖 (和歌山県日高郡由良町大引)	白崎海岸県立自然公園の海側を左手に見ながら白崎半島へ向かって道沿いに移動すると、海中に巨大な石灰岩でできた岩門が聳え立っている。万葉歌碑が建立されており、持統・文武両天皇が牟婁の湯（白浜温泉）へ行幸された折に、船から見た白崎の絶景を詠まれたとされる歌が刻まれている。古くから風光明媚な景勝地として知られている。 
兵庫県	絵島 (兵庫県淡路市岩屋)	淡路市の北、高速船のジェノバラインが発着する岩屋港のすぐ側にある絵島は、平家物語の月見（巻五）にも登場する美しい小島である。1180年、福原に新都が移された頃、貴人たちが、舟を出して、絵島を愛でながら歌会を催したと記されている。 
	上立神岩 (兵庫県南あわじ市沼島)	国生み神話ゆかりの場所で、海面から高さ約30mにそびえ立つ“矛先”のような形をした岩であり、沼島の海岸線に見られるくじら伝説の舞台を思わせる奇岩や岩礁の象徴的な存在として知られている。イザナギノミコトとイザナミノミコトがおのころ島に降り立ち、巨大な柱の周囲をまわって婚姻を行ったという、「天の御柱（あめのみはしら）」ともいわれている。 
	鰐浜海岸 (兵庫県相生市)	相生湾最先端部の岬は、瀬戸内海国立公園に指定されており、海岸沿い約1.2キロに渡り遊歩道が整備され、利用者に親しみやすいようになっているが、手つかずの自然が残されている。切り立った山の斜面が海岸まで迫り、遊歩道、岩礁、礫浜となり海へとつながる。海浜植物も多く自生しており、四季折々の風景が楽しめる。 

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
岡山県	黒島ヴィーナスロード (岡山県瀬戸内市牛窓町黒島)	干潮になると黒島・中ノ小島・端ノ小島をつなぐ砂洲が海中から現れ、島と島がつながり、歩いて渡ることができる。中ノ小島にはハート形の石があり、触れると願いがかなうとも云われ、カップルや女性に人気のスポットである。 
山口県	満珠・干珠 (山口県下関市長府)	瀬戸内海国立公園の中にあり、「日本書紀」の仲哀紀にその名を見ることができるこの島は、伝説に満ちた神聖な島で、忌宮神社の飛び地境内。 また、千古の原始林に覆われ、大正 15 年 10 月 20 日に天然記念物に指定された。 源平合戦最後の戦いである壇ノ浦の合戦で、源義経率いる源氏軍が拠点とした島でもあり、関門の歴史に思いをはせることのできる景勝地である。 
徳島県	鳴門の渦潮	鳴門市孫崎と淡路島との間の鳴門海峡では、潮の干満によって渦潮が発生する。渦潮は、春と秋の大潮時に最大となり、なかには、潮流時速 20km、最大直径 20m にも及ぶものがある。百雷のごとくすさまじい轟音を立てて渦潮が交錯しながら流れていくさまは壮観である。満潮と干潮は 1 日に 2 回ずつあり、鳴門海峡ではこの満潮時と干潮時に渦潮が発生する。満潮時と干潮時の前後約 1 時間半が渦潮の見頃といわれている。「鳴門海峡」は、イタリア半島とシシリー島間の「メッシーナ海峡」、北アメリカ西岸とバンクーバー島東岸との間「セイモア海峡」と並んで“世界三大潮流”と呼ばれている。 
香川県	球状ノーライト (観音寺市伊吹町字円上島)	1930 年に九州大学高壮吉博士により発見される。 白色鉱物(斜長石)が球顆の中心となり、有色鉱物(紫蘇輝)がその周囲を取り巻き、あたかも年輪のごとく同心円環をなして集結している。球顆の大きいものは、直径 7 センチにもなる。 昭和 9 年 12 月 28 日、天然記念物指定。 
	鹿浦越のランプロファイヤ岩脈 (東かがわ市松原)	東かがわ市松原の海岸に認められるランプロファイヤ岩脈。花崗岩の節理にランプロファイヤ岩脈が貫入しているのが観察できる。1942(昭和 17)年に国の天然記念物に指定される。海岸沿いにアプローチできるが、プレジャーボートなどで海上から観察することも出来、周辺のジオサイトを含めたツアーが催行されている。 

府 県	名 称 (所在地)	概要・特徴
香 川 県	大余島・中余島 (小豆郡土庄町銀波 浦)	小豆島南西部にある池田湾に浮かぶ大余島・中余島は、干潮時には小豆島本島と砂洲で陸続きとなる陸繋島である。島の周辺は海食崖が発達する。穏やかな海と砂洲でつながる島とが織りなす景観や、一日2回の干潮時に出現するトンボロは「大切な人と手をつないで渡ると、砂洲の真ん中で天使が舞い降りてきて、願いを叶えてくれる」という触れ込みで「エンジェルロード」としてアピールされている。 
愛 媛 県	森の大谷海岸 (伊予市森)	森の大谷海岸は、約 1,800mにわたり地質学上第三紀に属する粘土質岩が露出し、断崖をなしている。またシジミやタニシ等の貝の化石も発見されている。この地層から多くの埋もれ木が出ており、「扶桑木」(県指定天然記念物)と呼んでいる。数百年前のメタセコイア、トガサワラ、オオバラモミの古代植物が炭化したもので、学術的にも貴重なもの。太古から「扶桑の郷」といわれるほどの大森林地だった。 
	覗き岩 (宇和島市大浦)	赤松遊園地(覗岩遊園地)内にある奇岩。溶岩性の岩で南予唯一の活火山によって形成された泉が森の地質と一致する大和田建樹さんが、「舟うけて母と見にこしのぞき岩 わすれずながら年は経にけり」と読んでいるようにこの岩は古くから宇和島の海の玄関のシンボルだった。現代美術家の大竹伸朗さんも絶賛しているパワースポットである。 
	ハマユウの群生 (宇和島市沖ノ島)	沖ノ島は宇和海に浮かぶ日振島の北0.5kmに位置する、面積0.18平方kmの無人島。県指定天然記念物であるハマユウが五千株を超えて群生している。地域住民や宇和海中学校生徒による害虫駆除、苗の移植、ゴミ掃除などの保護活動によって、年により増減はあるが、今のところ安定した生育状態が続いている。 

府 県	名 称 (所在地)	概要・特徴
愛 媛 県	須崎海岸 (愛媛県西予市三瓶町)	須崎海岸には、約4億年前の縦じまの地層が大規模に広がっている。縦じまの岩石は火山灰が固まってできた「凝灰岩(ぎょうかいがん)」で、凝灰岩の中に含まれる石灰岩の礫からは4億年ほど前の原始的なサンゴ化石が見つかった。 この地層は、黒瀬川構造帯の一部で、もとは水平だった地層が地殻変動で現在のような垂直の岩壁となった。 300mほどの遊歩道も整備されており、間近で見るその姿は圧巻である。また、民間業者が運営する屋形船や海上タクシーによるジオクルーズも行われております。2014年10月31日に日本の奇岩百景に登録された。 (四国西予ジオパーク http://seiy-geo.jp/)
大 分 県	姫島村全景 (大分県姫島村)	瀬戸内海国立公園の西端に位置する姫島は、約30万年前からの火山活動が生み出した大地が、長い時を経て4つの小島となり、それらが砂州でつながって一つの島になったもので、島の各所に、トンボロと呼ばれる砂州地形の名残がみられる。姫島を中心とした海域を含む東西14km、南北6kmの区域で、2013年「火山が生み出した神秘の島」をテーマとして、日本ジオパークに認定された。
	かんのもんざき 観音崎の海食崖と 海食洞 (大分県姫島村)	島内随一の景勝地である観音崎の東側には、全国的にも珍しい乳灰色～乳白色の黒曜石からなる海食崖が高さ40m、幅120mにわたり続いており、海食洞が複数みられる。観音崎の黒曜石は、地質学的に重要であるとともに、主に縄文時代に石器に加工され、瀬戸内海を中心に広い範囲で流通するなど、考古学的にも重要であることから、平成19年に観音崎一帯が「姫島の黒曜石産地」として国の天然記念物に指定された。
	姫島灯台下の海食 洞と柱岳 (大分県姫島村)	姫島の東端に位置する姫島灯台下には、稲積火山の一部である柱ヶ岳溶岩からなる断崖が露出し、海食洞が複数みられる。西側の海食洞が一番大きく、満潮時には小舟で洞内に入ることができる。洞内には、姫島七不思議のひとつ「阿弥陀牡蠣(あみだがき)」が生息している。崖の東端にみられる離れ岩の「柱岳」は、もともとつながっていたもので、陸側との間に同様の海食洞があったと考えられている。



半自然海岸・人工海岸

近年は河川からの土砂供給の減少や埋立て・沿岸構造物の改変に伴う沿岸流の変化等により、汀線の後退や形状の変化等が生じている。そのため海岸を管理する国や自治体が、関係する地域住民等の参画を得ながら、一旦失われた自然海岸等を極力元の状態に回復させるため、防災等安全性の確保、周辺環境や利用面への配慮、事業効果等を考慮しながら、堤防、離岸堤、消波堤、緩傾斜護岸等のハード面の整備や、親水性を高め適正に利用できるルール作り等のソフト面の整備をおこなっている。

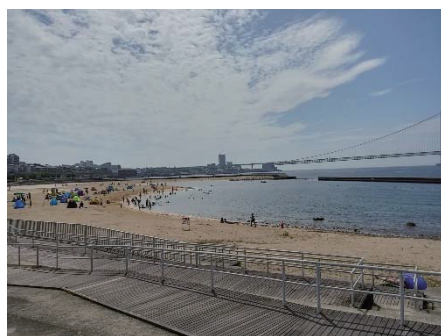
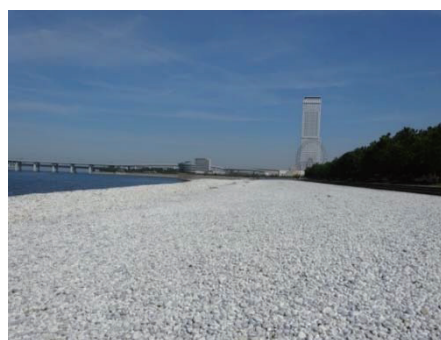
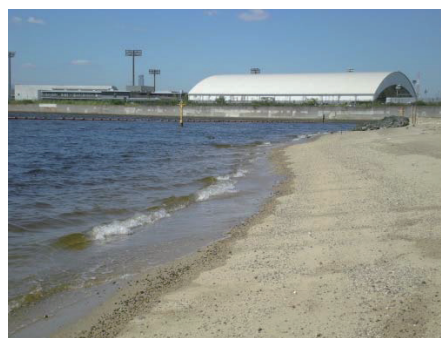
半自然海岸とは海岸の一部に人工（離岸堤等含む）が加えられているが、潮間帯においては自然の状態を保持している海岸で、人工海浜、人工干潟等も含んでいる。

元々自然の白砂の渚が、浸食等により減少したところを浸食防止対策や、離岸堤、潜堤及び他からの砂供給等により養浜した事例が多いが、全く砂浜が無いところへの砂等の搬入、塩田跡地の整備による親水性を高めた人工海岸もある。

紹介したい主な半自然海岸・人工海岸を表１－４に記載した。

表１－４ 半自然海岸・人工海岸の紹介

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
大阪府	堺浜自然再生 ふれあいビーチ (堺市堺区築港八幡町地先)	この砂浜は、堺泉北港の北泊地において、臨海部の生物多様性の回復・保全に向けた「実験」の場として造成。 砂浜の造成には近隣の大和川の浚渫土砂を有効利用し、表面の砂は佐賀県唐津産の海砂を用いている。 砂浜の大きさは、延長約 160m、幅約 30 から 40m で、面積は約 5,000 平米。造成後は、堺の海の自然再生に向け、定期的に水質や生物の調査や海浜造成用材の環境実験を実施している。
	大阪府泉佐野市りんくう往来北他	大阪府南部、関西国際空港の対岸に位置する人口の海岸であり、白い大理石の玉石と青い海のコントラストが鮮やかなロングビーチである。また、大阪湾に沈む夕日がきれいで、夏至の頃には関西国際空港、冬至の頃には水平線に沈む夕日を見ることができる。
兵庫県	大蔵海岸公園、大蔵海岸海水浴場	明石海峡大橋を一望できる絶好のロケーションが特徴。春から秋にかけてバーベキューサイトが開設されるほか、夏は便利で快適な都市型海水浴場として人気である。



府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
兵庫県	田ノ代海岸 (兵庫県淡路市岩屋)	淡路島北部に位置する田ノ代海岸は、明石海峡特有の潮流や台風時の波浪により海浜部の面積が減少していた。このため、景観や環境に配慮した人工リーフや緩傾斜護岸等を採用し、その全面に養浜を整備することで、海岸侵食・越波の防止等防災機能の強化を図る整備を行った。当海岸では、地元の園児が参加して地引き網体験を毎年実施するなど、環境学習の場としても利用されるなど、自然環境の保全・創出に配慮した海岸づくりを行っている。 
	那波港 (兵庫県相生市)	相生湾最奥部の那波港海岸は、市街地にあり、干潟が続き、塩生植物や生物が多く生息している。また、遊歩道も完備され市民の憩いの場になっている。海岸沿いにある大島山は、かつて島であったが、現在は陸続きになっており、室町時代までは城があったが、現在は消失し跡形もない。島の植生は、海岸風衝林で占められ、島の成り立ちを色濃く残しており、地域の自然の成り立ちを学ぶ貴重な存在となっている。 
広島県	梶ヶ浜 (広島県呉市下蒲刈町)	梶ヶ浜の一部を埋立ててつくられた観松園の護岸は、ポートウォークに仕立てられ、散歩や釣りを楽しむ。梶ヶ浜海水浴場は、1986年にオープン。海水浴場に隣接する観松園には、農水産物加工センター、コテージ、貝と海藻の家、塩づくり体験施設、朝鮮通信使記念庭園などがある。また、海開きの日には、「梶ヶ浜ビーチフェスタ」を開催。 
香川県	うたづ臨海公園 (綾歌郡宇多津町)	かつての塩田を埋め立てて形成された人工海岸。そこで営まれた製塩業の体験が出来る施設を作るなど、工夫がなされている。眼前に瀬戸内海とそこに浮かぶ島々が広がっている。  
愛媛県	五色浜（五色姫海浜公園） (伊予市尾崎)	平家の姫が身を投じて五色の石になったという伝説が残る五色浜。美しい松林の中に歴史を伝える記念碑が多くあり、内港や沖に見える島々の景観がすばらしい。隣接する「五色姫海浜公園」は白砂が美しい海水浴場であり、年間14万人を超える人気のスポット。ビーチバレーのメッカとして公式戦も行われている。 

府県	名 称 (所在地)	概要・特徴
愛媛県	ふたみシーサイド公園 (伊予市双海町高岸 甲 2326)	水平線に沈む美しい夕日を地域資源に、「しずむ夕日が立ちどまる町」として観光振興対策が講じられた。「日本の夕陽百選」にも選定され、ふたみシーサイド公園の整備とあわせて、県内随一の夕日スポットとして多くの観光客に愛されている。平成 19 年には「恋人の聖地」に認定された。 
大分県	田ノ浦ビーチ (大分市大字神崎字 浜 4253)	大分市中心部と高崎山を結ぶ国道 10 号に面した、自然豊かな海浜公園で、恋人の聖地に認定されている。 橋で結ばれる島は芝生敷きで、別府湾に面した別府市の湯けむり、国東半島、大分市街地を一望でき、夜景スポットでもあり、通年楽しめる。 また、園内には、お子さんが楽しめる帆船型の大型遊具があり、夏には海水浴場がオープンする。体が不自由な方のために海に浮くこともできる車いすも設置している。 

(参考)

瀬戸内海の家・浜辺に係る主な自然景観百選等の事例を巻末の参考資料 1 に掲載しているのでご参照下さい。

2. 海・浜辺の保全の取り組み

瀬戸内の海岸線は、沿岸域が遠浅であることから、古くからの農地や塩田造成のための干拓・埋立が行われ、何らかの海岸堤防が築かれてきた。埋立は明治以降各地で急速に実施され、更に戦後の高度成長期には約2万 ha が埋め立てられ、自然海岸は大幅に減少し、海岸線の総延長に占める自然海岸の割合は、全国平均の53%に比べ、瀬戸内海では37%しかなく、人工護岸は49%と他の海区と比較して最も高い。特に沿岸部が埋立地、工業地帯となっている大阪府は人工海岸が大部分を占める。一方、香川県、岡山県は比較的自然海岸が残っている。近年は失われた藻場・干潟を含む浅海域を極力自然海岸に近い形に取り戻すための整備が各所で始まっている。

(1) 海・浜辺の保全に向けた施策

瀬戸内が誇る自然環境を後代に継承するために、失われた良好な資源の再生や保全・創造に向けて、国、自治体による各種の取り組みが行われている。

瀬戸内の海・浜辺の保全に関係する主な施策は、海岸法に基づく「海岸保全基本方針・海岸保全基本計画」及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく「瀬戸内海環境保全基本計画・府県計画」や府県条例による「自然海浜保全地区」の設定等があり、施策を進めるにあたってはそれぞれ関係する法令や施策との整合・連携を図ることとなっている。

①海岸保全基本方針・海岸保全基本計画

海岸法に基づき、災害からの海岸の防護に加え、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用の確保を図り、地域の特性を生かした地域と共に歩む海岸づくりを目指した基本方針が示され、方針に定めた沿岸毎に、関係する府県が連携して具体的な海岸保全計画を策定した。そのうち海・浜辺に関する主な取り組み内容は下記のとおりである。

- ・ 海岸の防護：養浜等砂浜の浸食対策等
- ・ 環境の整備と保全：白砂青松の創出、貴重な海浜植物の保護・保全等
- ・ 公衆の適正な利用：海岸線へのアクセスルートの整備、レジャー施設・展望場の整備等

②瀬戸内海環境保全基本計画・府県計画

瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、沿岸域の環境保全・再生・創出、水質の保全・管理及び水産資源の持続的利用の確保とあわせ、自然景観及び文化景観の保全を目標に掲げ、自然海浜の保全、海水浴場の保全、自然公園等の保全、海ごみ対策の推進、エコツーリズムの推進等の基本的施策が示された瀬戸内海環境保全基本計画が策定され、基本計画をもとに各府県計画を策定している。そのうち海・浜辺に関する主な取り組み内容は下記のとおりである。

なお、これらの取り組みが広域においてより有機的に機能するためには、県域を越えて様々な利害関係者が協議して行く必要がある。また、協議する場として、各府県計画を策定した際に意見を聴いた湾灘協議会等を活用することが望ましい。

- ・ 砂浜・塩性湿地等の保全・再生・創出：現状の保全、新たな創出のための調査、整備等
- ・ 自然海浜の保全：養浜等による海浜環境の整備等
- ・ 環境配慮型構造物の採用：親水性等に配慮した緩傾斜護岸の整備等
- ・ 海水浴場の保全：水質の保全、水質調査等
- ・ 自然公園等の保全：自然とのふれあいを促進する公園施設整備、自然保護協力金制度等
- ・ 緑地等の保全：臨海部の緑の創出、生物多様性を考慮した植生の保全・回復等
- ・ 漂流・漂着・海底ごみ対策の推進：計画的な海ごみ回収・発生抑制対策等

表2-1 瀬戸内の海・浜辺の保全に向けた施策の実施事例

a. 人と自然との共生を目指した施策

実施施策名 (関連法令・計画等)	景観の形成等に関する条例		
担当府県(部署)	兵庫県(景観形成室)		
主な対象地区	西播磨海岸地域 高砂市高砂地区(高砂市高砂町北本町、東浜町、船頭町、清水町、高瀬町、藍屋町、魚町、大工町、釣船町、狩網町、南本町、南渡海町、横町、南材木町、南浜町、東宮町、戎町、西宮町、田町、今津町、狹師町、材木町、北渡海町、細工町、鍛冶屋町、次郎助町、東農人町、農人町、鍵町、木曾町及び向島町並びに宮前町の一部区域) たつの市御津町室津地区 (たつの市御津町室津の一部区域)		
(施策の概要) 「景観の形成等に関する条例」による広域景観形成地域・景観形成地区等の指定により自然景観と調和した良好な景観形成に努めている。 【広域景観形成地域制度】 相生市及びたつの市御津町の一部区域を「西播磨海岸地域風景型広域景観形成地域」に指定し、地域特性に応じた広域景観形成基準を定めるとともに、大規模建築物等の新築・増改築、広告物等の表示を行う場合に届出を求め、地域の景観の形成を図る。 ■西播磨海岸地域 当地域の岬で構成される入り江の浦には、瀬戸内海有数の港町を形成し、その集落を風・波から守る岬は、神の降臨場として信仰を集め、神社を祀り保全しており、その背後の丘陵とともに、美しい緑の海岸線を形成している。兵庫県の瀬戸内海側で有数の長さを誇る自然海岸と港町を形成する貴重な地域において、美しい風景づくりの推進を図る。			
			
		綾部梅林から	万葉の岬から
			
		新舞子海岸から	
実施施策名 (関連法令・計画等)	保安林の指定による森林の保全(森林法)		
担当府県(部署)	兵庫県(森林保全室)	主な対象地区	沼島(南あわじ市)
(施策の概要) 淡路島の南約4.6kmのところに浮かぶ沼島は、漁業と観光が主な産業である。森林と海には深い関係があることは古くから知られており、島内の森林の大部分を「魚つき保安林」に指定し、大規模な伐採等を禁止している。水面に陰をつくったり、流れ込む水の汚濁を防いだり、養分の豊かな水を供給するなど、保安林にすることで、森林の持つ公益的機能を永続的に保全し、良好な漁場を確保している。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	環境配慮型護岸の採用(環境率先行動計画、瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画)		
担当府県(部署)	兵庫県	主な対象地区	兵庫県全域
(施策の概要) 県が新たな護岸等の整備や既存の護岸等の補修・更新を行う際は、健全な水質浄化、生物の生息・生育空間の再生・創出のため、緩傾斜護岸など環境配慮型護岸を採用するように努めている。 【導入例(緩傾斜護岸)】神戸空港島、大阪湾広域臨海環境整備センター神戸沖処分場、姫路港(網干沖地区)廃棄物埋立護岸など			
実施施策名 (関連法令・計画等)	地域団体等による藻場・干潟等の再生・創出支援事業 (瀬戸内海環境保全特別措置法、瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画)		
担当府県(部署)	兵庫県(水大気課)	主な対象地区	兵庫県の瀬戸内海沿岸地域
(施策の概要) 瀬戸内海を豊かで美しい「里海」として再生するため、地域団体等が行う藻場・干潟など生物生息域の再生・創出等の実践活動に対して助成を実施している。			
			

実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸の防護、環境の整備と保全		
担当府県(部署)	兵庫県相生市	主な対象地区	相生市那波港
(施策の概要) 相生湾最奥部の那波港は、兵庫県レッドデータAランクのシバナの一大群生地であり、その他海浜植物や干潟周辺に生息する生物が多く生息しているが、近年、海岸が波により浸食され、海岸域や干潟が減少し、貴重な生物の生息域が消失しつつある。 そこで、那波港にそそぐ河川の上流部の山砂を海岸に入れ、保全活動に取り組んでいる。 また、藻場の育成、再生活動としてアマモの移植を行ったり、干潟の生物調査を行い、現状把握も行っている。 その他、海岸域や遊歩道の清掃活動を行うなど、保全活動に積極的に取り組んでいる。			
			
那波港海岸			
実施施策名 (関連法令・計画等)	須磨海岸再整備事業		
担当府県(部署)	兵庫県神戸市(港湾局)	主な対象地区	須磨海岸
(施策の概要) 関西最大級の規模を誇る「須磨海水浴場」は、海水浴シーズンには年間約70万人の来場者で賑わい、都心部にある貴重な親水空間である。 このような中、平成27年度から29年度にかけてJRR須磨駅前においては、人と自然がより快適に共生できる空間を創造するために養浜(遠浅化)事業を実施した。その結果、多くの市民が憩う砂浜となり、潮干狩りやビーチスポーツ等が行われるとともに、遊歩道や多目的トイレも整備し、海水浴客だけではなく、ジョギングや散歩等を楽しむ市民の方々が訪れ、子供連れ家族が安全・安心に海岸を利用し、四季を通じて楽しめる海岸へ生まれ変わった。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	自然海浜保全推進事業		
担当府県(部署)	岡山県(環境管理課)	主な対象地区	岡山県沿岸全域
(施策の概要) 目的 瀬戸内海の環境保全や自然に対する感性を育むため、地域の自然を活用して海とのふれあいを確保し、その利用や理解を促進する。 内容 岡山県内の親子等を公募し、自然海浜保全地区等で磯生物の採集や海ごみの回収を行い、自然海浜の多様な生物や海ごみの現状を学ぶ体験学習を実施する。 併せて、海浜の場所、海の遊び方などを示したリーフレットを作成し、県民が気軽に海に足を運びきっかけをつくる。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	岡山県水産振興プラン2017		
担当府県(部署)	岡山県(水産課)	主な対象地区	岡山県全域
(施策の概要) ・アマモ場の保全・再生のため、漁業者を主体とした種まき等の再生活動の支援に重点を置き、県下全域へ取組を拡大させることで、アマモ場の面積の増加を目指している。 ・生物の生息環境を改善し、資源の増大を図るため、かつて本県海域で見られたカキ礁や貝床のような良好な漁場を参考にして、カキ殻の敷設による海底環境の改善を推進する。また、漁業者が主体となって実施する海底耕うんの取組に対して助言や支援を行い、海底環境の改善につなげる。			

実施施策名 (関連法令・計画等)	かがわ「里海」づくりビジョン		
担当府県(部署)	香川県(環境管理課)	主な対象地区	香川県全域
(施策の概要) 香川県では、多様な分野の関係者の連携・協働の場として、かがわ「里海」づくり協議会を設立(平成 25 年 4 月)するとともに、かがわ「里海」づくりビジョンを策定しており、同ビジョンに示す『人と自然が共生する持続可能な豊かな海』の実現を目指して、山・川・里(まち)・海をつなげる施策を総合的に進める里海づくりを推進している。			
 全県で、県民みんなであつなく山・川・里(まち)・海			
実施施策名 (関連法令・計画等)	かがわ里海大学		
担当府県(部署)	香川県(環境管理課)	主な対象地区	香川県全域
(施策の概要) 里海について県民の理解を拡げ、里海づくりをけん引する人材を育成するため、平成 28 年 4 月に香川大学と共同で「かがわ里海大学」を開校し、様々な講座を随時開講している。平成 28~29 年度で 42 講座を実施して 831 名が修了しており、里海大学で学んだことを生かし、里海づくりを実践するなど、自主的な里海活動も地域に広がってきている。			
			

ｂ．海ごみ対策における施策

実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸漂着物等地域対策推進事業		
担当府県(部署)	和歌山県	主な対象地区	原則地域計画に定める重点区域
(施策の概要) 和歌山県の貴重な財産である海岸の良好な景観及び環境の保全を目的に策定した「和歌山県海岸漂着物対策推進地域計画」に基づき、国の地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等地域対策推進事業)を活用し、海岸漂着物等の回収・処理、発生抑制対策を目的とした県民等の参画するイベントの開催、市町村が主催するクリーン活動事業への補助(平成 30 年度は岩出市、田辺市の 2 市に補助)を行う。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸漂着物地域対策推進事業		
担当府県(部署)	京都府亀岡市	主な対象地区	瀬戸内海国立公園 成ヶ島(兵庫県洲本市由良)
(施策の概要) 亀岡市内の小中学生及びその保護者を対象に、河川及び海岸における漂着ごみの実状を学び、海のない亀岡市からの漂着ごみの発生抑制の意識啓発を目的として環境教育を実施。(京都府海岸漂着物地域対策推進事業) その一環として、兵庫県洲本市由良中学校が毎年実施している「成ヶ島クリーン作戦」に参加し、地元地域との交流を通じて、川と海の子供たちの相互理解を深め、桂川・淀川の流末である瀬戸内海を調査することで、亀岡と海との系統性・連続性に関する理解を深める。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海ごみ啓発ポスター掲出・チラシ配付		
担当府県(部署)	大阪府	主な対象地区	大阪府全域
(施策の概要) 2019 年 1 月 28 日に、大阪府は大阪市と共同で、2019 年 G20 大阪サミット及び 2025 年大阪・関西万博の開催地として、使い捨てプラスチック削減のさらなる推進やプラスチックの資源循環の推進などを盛り込んだ「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行った。 この宣言に係る具体的な取組の一つとして、海洋プラスチックに関する啓発ポスター・チラシを作成し、関係機関や市町村をはじめ、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等で掲出・配付するとともに、企業とも連携して、環境イベント、SNS、広報誌など様々な媒体を通じて情報発信を行っている。			
			

実施施策名 (関連法令・計画等)	使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Free チャレンジ」		
担当府県(部署)	大阪府堺市(環境政策課)	主な対象地区	堺市全域
(施策の概要) 堺市は、平成30年6月、SDGs未来都市に選定された。これを受け、海洋プラスチック対策をSDGsの取組として位置付け、市民が身近に取り組めるSDGsの取組として、包括連携協定を締結しているセブン・イレブン及び市内に多数の店舗を有するローソン等コンビニエンスストア事業者の応援・協力のもと、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促す、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Free チャレンジ」を推進している。 ・ホームページ、SNS等を活用した啓発 ・市内協力コンビニエンスストアへの啓発ポスター掲出、コンビニエンスストア従業員への声掛け徹底依頼 ・市役所本庁舎内入居事業者への使い捨てプラスチック削減協力依頼 ※その他、今後も様々な取組を実施予定			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	瀬戸内海沿岸海岸漂着物対策推進懇話会		
担当府県(部署)	兵庫県(環境整備課)	主な対象地区	瀬戸内海沿岸
(施策の概要) 「兵庫県瀬戸内海沿岸海岸漂着物対策推進地域計画」に基づき、地域の特性を踏まえ、海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するため、民間活動団体の代表や国・県・市町の関係行政機関から構成される懇話会を開催する。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸漂着物等の回収・処理		
担当府県(部署)	兵庫県(環境整備課)	主な対象地区	原則地域計画に定める重点区域
(施策の概要) 地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物地域対策推進事業)を利用し、海岸漂着物の回収・処理を実施する。海岸管理者は、海岸の地形、気象等の条件や景観、海岸の利用、漁業等経済活動等の状況及び海岸漂着物等の量・質等を勘案し、海岸漂着物等の適正な処理を行う。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	普及啓発活動		
担当府県(部署)	兵庫県(環境整備課)	主な対象地区	兵庫県内全域
(施策の概要) 海岸漂着物等の多くは、陸域で発生したものであり、河川を通じて海に流れ出し海流や風により運ばれたものが、広く海岸に漂着しており、その中には生活に伴って発生したごみ等が含まれる。 海岸漂着物等の発生抑制には、その発生の実態を理解し、その適正処理を推進することが必要である。広く住民が当事者意識をもって自主的かつ積極的に海岸漂着物対策への取組をおこなう必要があることから、海岸一斉清掃等の情報を提供し、清掃活動への参加を呼びかけるとともに、環境学習により意識の高揚を図る。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	水産多面的機能発揮対策事業(うち、漂流・漂着物処理)		
担当府県(部署)	兵庫県(資源増殖室)	主な対象地区	神戸市、高砂市、たつの市、淡路市、洲本市、南あわじ市
(施策の概要) 環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域活動を支援する水産庁の施策であり、海洋汚染の原因となる漂流・漂着物処理も支援対象に含まれる。兵庫県では本施策を活用し、地域団体や漁業者等が行う海ごみの回収・処理事業を推進している。			

実施施策名 (関連法令・計画等)	リフレッシュ瀬戸内		
担当府県(部署)	兵庫県加古川市	主な対象地区	別府港、尾上港
(施策の概要) 瀬戸内海沿岸の地方自体等で構成される瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会では海浜の清掃活動という、誰もが参加しやすい活動を通じて美しい瀬戸内を守っていくことを目的に、平成5年度から「リフレッシュ瀬戸内」事業として、瀬戸内海沿岸地域の11府県107市町村において環境美化活動を実施している。 【平成30年度実績】 加古川市に於いては6月26、27日の2日間にわたって別府港・尾上港の清掃作業を行った。 ・別府港 6月26日(火) 8時30分～9時30分 参加人数 175人 ・尾上港 6月27日(水) 9時～10時 参加人数 72人			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海ごみ発生抑制対策(平成29年度)		
担当府県(部署)	岡山県 (循環型社会推進課)	主な対象地区	岡山県全域
(施策の概要) ○海ごみ対策啓発展示会の開催 海ごみ啓発資材(写真パネル、海ごみ現物等)の展示や、回収等の活動の紹介を、県内9箇所(公共施設・民間施設)で実施 ○海ごみ回収ハンドブックの作成 県民の海ごみに対する意識改革や、海ごみ回収などの実践行動を促進するため、海ごみ回収活動に参加する際の注意事項等をコンパクトにまとめた手引きを作成 ○新聞広告掲載 瀬戸内海の海ごみを考える月間に合わせ、海ごみ対策の周知を目的とした新聞広告(全面)を地元新聞において2回掲載			
実施施策名 (関連法令・計画等)	岡山県水産振興プラン2017		
担当府県(部署)	岡山県(水産課)	主な対象地区	岡山県全域
(施策の概要) ○平成27年度に「岡山県海岸漂着物等対策推進地域計画」を策定し対策を推進しており、海底ごみについては、沿岸7市に16基の海底ごみステーションを設置し、底びき網漁業者が日常の操業で引き揚げたものを、市等の協力により運搬、処理する体制を構築している。 ○漂流ごみについては、小型船舶愛好団体がボランティアで実施している回収活動を支援する。 ○発生源対策として、県内市町村や庁内関係課から構成される「岡山県海ごみ対策県市町村連絡調整会議」において、情報交換や県下全域での海ごみに関する普及啓発等を行うとともに、海ごみの回収、運搬、処理について関係機関が役割分担して対応している。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸一斉清掃の取組(H28年度～)		
担当府県(部署)	広島県	主な対象地区	広島県沿岸市町
(施策の概要) 県の代表的な観光地である宮島を舞台に、スポーツGOMI拾い、GOMI拾いウォーキング、GOMI拾いコン(合コン)など、多彩な催しを組み合わせ、楽しみながら清掃を行う、海岸一斉清掃のモデル事業「宮島海岸GOMIゼロ大作戦」を平成28年7月に実施した。 この事業の成果を生かして、沿岸市町への手法の伝授等の支援を行うことにより、多様な主体が連携して、楽しみながら参加できる海岸一斉清掃の取組が拡大していくよう取り組んでいる。 ＜新規取組市町＞ 29年度～：廿日市市、竹原市、大崎上島町 30年度～：呉市、大竹市、江田島市 (以後取組市町を拡大)			

実施施策名 (関連法令・計画等)	やまぐちのキレイな海岸フォトコンテスト		
担当府県(部署)	山口県	主な対象地区	山口県内の海岸
(施策の概要) 県内各地域で活発に展開されている海岸環境美化活動の取組や美しい風景の写真を通じ、県民の環境美化や景観保全の意識の醸成と実践活動の促進を図る。 ○テーマ：「やまぐちのキレイな海岸」 ○撮影対象：県内海岸における清掃活動等の状況や美しい風景 ○表彰：環境保全活動及び景観の部門別に表彰 ○主催：山口県海岸漂着物対策推進協議会、山口県 ○参考：山口県廃棄物・リサイクル対策課 HP URL：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/16kaigan/photocontest2017.html			
実施施策名 (関連法令・計画等)	山口県海岸清掃エコツアー		
担当府県(部署)	山口県	主な対象地区	山口県内の離島
(施策の概要) 離島をフィールドとした体験型海岸清掃エコツアーを開催し、海洋ごみの実態把握及び環境学習を推進する。 ※各地域や農林水産部と連携した漁業体験等の実施により、水産振興や地域活性化も促進 ○実施離島：柱島(岩国市)、平郡島(柳井市)、蓋井島(下関市)、見島(萩市) ○参加対象：県内小中学生とその保護者(定員：各島40名) ○実施内容：海岸清掃・漂着物調査、各離島の特色に応じた漁業体験等 ○主催：山口県 ○参考：山口県廃棄物・リサイクル対策課 HP URL：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/16kaigan/h30ecotour.html			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海底堆積ごみ回収・処理システム		
担当府県(部署)	香川県(環境管理課)	主な対象地区	香川県全域
(施策の概要) 国、県、市町及び各種団体の参加による香川県海ごみ対策推進協議会(H25.5 設置)にて、関係者の協働により構築している海底堆積ごみの回収・処理システム。漁業者が、漁業の際に底びき網漁などで網にかかった海底堆積ごみをボランティアで陸まで持ち帰り、そのごみを沿岸市町や協議会が運搬・処理し、その費用を内陸を含む全市町と県が負担するもので、香川県独自の全国初の取組み。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」		
担当府県(部署)	香川県(環境管理課)	主な対象地区	香川県全域
(施策の概要) 県民に広く海ごみの発生抑制と回収促進の啓発を行うため、10月の第4日曜から15日間、県内の内陸部を含む全域で一斉にクリーン活動を実施するもの。平成30年度は約60,000人が参加し、98トンのごみを回収した。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	香川県海岸漂着物等地域対策推進事業		
担当府県(部署)	香川県(水産課)	主な対象地区	東かがわ市、小豆島町、土庄町 直島町(底びき網漁業禁止区域外のため、県の上乗せ補助なし)
(施策の概要) 環境省の事業。平成27年度より、幼稚魚の育成場として重要な浅海域であり、かつ通常の漁業操業で海底堆積ごみの回収が困難な海域において、市町・漁協等が実施する海底堆積ごみの回収・処理に対し、環境省の補助事業を活用して補助している。そのうち、小型機船底びき網漁業の禁止区域内で行う事業には、地元負担の1/2を県が上乗せ補助している。			
			

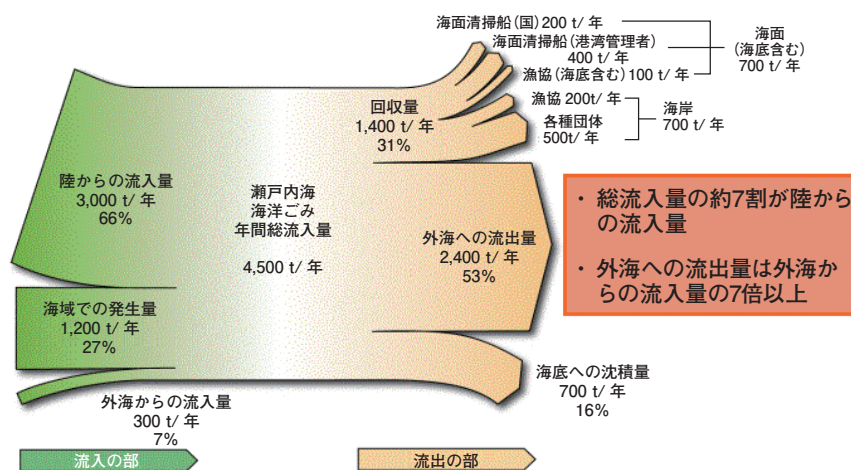
実施施策名 (関連法令・計画等)	水産多面的機能発揮対策事業		
担当府県(部署)	香川県(水産課)	主な対象地区	高松市(牟礼漁協) 東かがわ市(引田漁協) 観音寺市(観音寺漁協・伊吹漁協) さぬき市(鴨庄漁協)
(施策の概要) 水産庁の事業。漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する各種活動を支援する。活動項目の中に、「漂流、漂着物、堆積物処理」が含まれている。県では、関係市町及び関係団体と連携し、海ごみの回収・処理事業等を実施している。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	「さぬき瀬戸」パートナーシップ事業		
担当府県(部署)	香川県(河川砂防課)	主な対象地区	香川県が管理する海岸
(施策の概要) 地域住民などの団体が、香川県が管理する海岸の一定区間の清掃等を実施し、県と市町はこれらの活動を支援する。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	高松港海面清掃業務		
担当府県(部署)	香川県(港湾課)	主な対象地区	高松港内
(施策の概要) 高松港内において、県所有の清掃船「みずきⅡ」により、漂流物等の回収を実施。			
			
実施施策名 (関連法令・計画等)	愛媛県海岸漂着物対策推進地域計画の改定		
担当府県(部署)	愛媛県(循環型社会推進課)	主な対象地区	愛媛県内全域
(施策の概要) 平成 29 年 2 月に地域計画を改定し、重点海岸を全海岸に拡大したほか、海岸漂着物に加え、漂流ごみや海底ごみの回収・処理、マイクロプラスチック対策問題への対応を追加した。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	環境学習の実施		
担当府県(部署)	愛媛県(循環型社会推進課)	主な対象地区	愛媛県内全域
(施策の概要) 海岸漂着物の発生抑制のため、小・中学生を対象に海洋ごみに関する環境学習会を実施し、愛媛の海洋ごみに関する講義や海ごみ回収ゲーム、海ごみアート(みきゃんオブジェ・ダークみきゃんオブジェ、フォトフレーム)の制作を通じて、海岸や海域の環境保全の重要性の意識啓発を図る。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	愛媛県海岸漂着物対策推進協議会の開催		
担当府県(部署)	愛媛県(循環型社会推進課)	主な対象地区	愛媛県内全域
(施策の概要) 海岸漂着物対策推進に関して、国、県、沿岸市町、学識経験者、漁業関係者及び民間団体で構成される愛媛県海岸漂着物対策推進協議会を開催し、情報共有や連絡調整、意見交換を行った。			
実施施策名 (関連法令・計画等)	海岸漂着物の回収・処理		
担当府県(部署)	愛媛県(循環型社会推進課)	主な対象地区	愛媛県内全域
(施策の概要) 県及び市町の海岸管理者等やボランティアによる海岸漂着物、漂流ごみ及び海底ごみの回収を実施。平成 25 年度から 29 年度までの間に、合計約 604 トンの海岸漂着物等を回収した。			

(2) 海・浜辺の保全の取り組み事例

海・浜辺の保全の取り組みの中で最も多くの関係者が取組んでいるのは、海ごみの清掃活動である。海ごみは、景観の悪化による観光への影響やごみの混在による漁業資源への悪影響、水環境の悪化、生態系への被害など、経済的な分野に止まらず自然環境を保全する上で重大な社会問題となっている。

閉鎖性海域である瀬戸内の海ごみの収支の算定結果（図2-2）からは、陸からの流入や海域での発生が9割以上を占めている。流入した海ごみのうち漂着ごみは各種団体や漁協

による浜での清掃活動、また漂流ごみ、海底ごみは国、港湾管理者、漁業者の船上からの回収活動により約3割は陸上に回収されているが、約5割は外洋に流出、2割は海底に沈積しており、瀬戸内での海ごみ対策の取り組みは、その啓発活動も含め、非常に重要である。



出典：(公社)瀬戸内海環境保全協会HP 「海ごみ情報サイト」
(<https://www.seto.or.jp/etc/umigomi/>)

図2-2 海ごみ収支の算定結果

瀬戸内の海・浜辺の自然景観に最も影響のある漂着ごみの清掃活動は、海岸等管理者である自治体をはじめ、住民の恒常的な活動や漁業者による草の根活動が全域で着実に実施されている。

ボランティア主体の活動として最も幅広く実施されているのが、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（国交省・自治体の協同）が実施する「リフレッシュ瀬戸内海」であり、1993年から毎年実施され、延べ約200万人が参加し1万9千tのゴミを回収してきた。2018年度でも273ヶ所で約5万人が参加して約3百tのゴミを回収している。（表2-2）

回収されたごみの種類は、その約9割が、鳥や海洋生物の誤飲による死亡や近年あらゆる生物への影響が確認されているマイクロプラスチックの元となるビニール袋や発泡スチロール等のプラスチック類であり、これらの清掃活動により景観を保全してだけでなく、生物の保護や外洋への海ごみの流出量の削減に貢献している。

この他にも、「せとうち海援隊」（広島県）、「愛ビーチ活動」（愛媛県）、「さぬき瀬戸」パートナーシップ」（香川県）、「おおいたうつくし海岸クリーンアップ作戦」（大分県）等で、自治体等と各種団体や個人が連携して清掃活動による保全の取り組みを進めている。

表2-2 リフレッシュ瀬戸内実施結果
(2018年度)

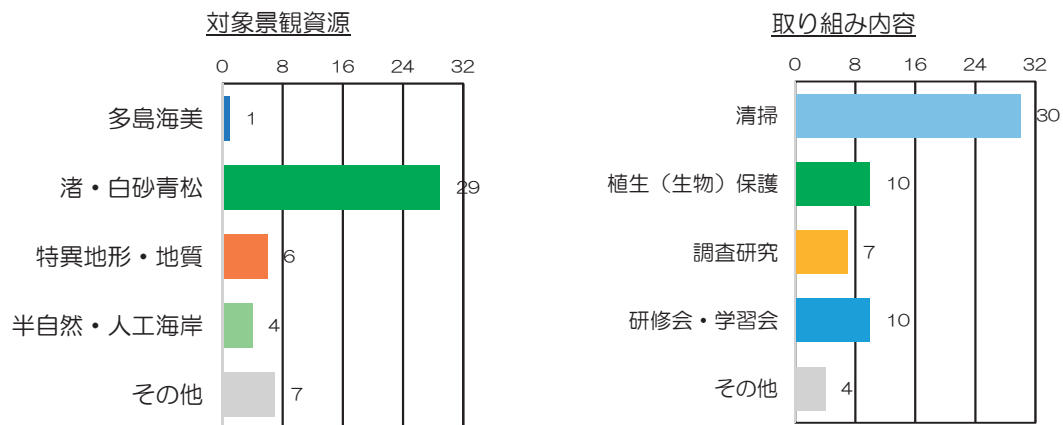
府県名	ブロック 拠点	実施 箇所数	参加人数 (人)	ゴミ回収量 (t)
大阪府	*大阪市	4	634	1.8
兵庫県	*神戸市	22	2,167	17.7
和歌山県	和歌山市	13	1,042	16.9
岡山県	玉野市	10	2,830	9.3
広島県	呉市	38	5,259	47.6
香川県	三豊市	53	7,054	49.4
徳島県	鳴門市	11	2,757	7.6
愛媛県	伊予市	80	5,248	66.5
周 防 灘	山口県	26	20,286	88.1
	福岡県・大分県	16	3,329	22.5
合計		273	50,606	327.5

注：*大阪市、神戸市は中止
出典：瀬戸内・海の路ネットワーク協議会HP
より引用編集

今回、関係の府県市より収集した、海・浜辺の個々の保全の取り組みの33事例（表2-3、図2-3、表2-4）からも、ほとんどの事例が海ごみの「清掃」に取り組んでおり、その活動場所の景観資源は、海ごみが多く漂着し景観の悪化が目立ちやすく、海水浴場等リクレーシヨンの場としても広く利用される「渚・白砂青松」である。

また清掃活動と併せて海岸林である松の植栽・管理、外来生物の除去、貴重生物の保全等の植生（生物）保護活動、海浜植物調査、浜辺から続く干潟でのアマモ調査等の調査研究活動、生き物観察会や特徴のある地質やマイクロプラスチックの学習会等を行っており、多様な取り組みを通じて海・浜辺の保全・再生・創造を計っている。

更にカヤック教室や漁業体験など参加者が楽しみながら保全の取り組みを行う企画も見られ参加者の関心を高める工夫もみられる。



注：全33事例のうち、1事例で複数が該当するため重複あり。

図2-3 保全の取り組み事例の対象景観資源と取り組み内容

保全の取り組み活動を持続可能なものにしていくための手法のそれぞれの特徴は

- ・資金 多くの団体が国、地元自治体、その他関係団体からの助成金（交付金、委託料含む）等を活用しているが、不足分を自己資金（会費等）で補っている取り組みが多い。
- ・人材育成 日頃の取り組みを通じて、参加者、特に子供を含む若い世代の意識の醸成を図っているが、活動の運営に携わる人材が少ない悩みがあるケースもある。
- ・連携方策 33事例中19事例が近隣の関連する自治体、漁協者、地元の学校、大学、企業、地元自治会等多様な主体と連携で実施している。また取り組みの紹介や参加者募集には、チラシやHP、SNS、メール等の電子媒体を活用している。

活動の効果については、海・浜辺の景観、水質、生物等の環境改善の他、身近な自然への愛着の高揚、環境保全への意識の醸成、住民同士や子供とのコミュニケーションの醸成などを挙げる団体が多くを占めた。

表2-3 海・浜辺の保全の取り組み 実施事例一覧

府県名	番号	海・浜辺 の名称	保全の取り組み 名称	実施団体	景観資源区分					主な取り組み 内容					実施 体制	
					多島海美	渚・白砂青松	特異地形・地質	半自然・人工海岸	その他	清掃	植生（生物）保護	調査研究	研修会・学習会	その他	単独	連携
和歌山県	①	磯の浦海岸 （磯の浦海水浴場）	エコ&サーフ磯の浦ビーチクリーンフェスタ	和歌山県サーフィン連盟		○				○					○	
	②	白崎海岸	自然公園内の清掃及び学習会	和歌山県立白崎青少年の家		○	○			○			○		○	
	③	西広海岸	海岸一斉清掃	広川町及び地元協力団体		○				○					○	
大阪府	④	堺浜自然再生ふれあいビーチ	アドプト・シーサイド・堺浜	一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア		○		○		○			○			○
	⑤	貝塚市 二色の浜	二色浜稚魚放流（二色浜クリーン作戦を含む） 二色浜のアマモ場調査と観察	貝塚市立自然遊学館		○				○		○	○			○
兵庫県	⑥	御前浜・香櫨園浜、今津浜	御前浜・香櫨園浜等における環境活動	浜・川・山の自然たんけん隊		○				○	○	○	○			○
	⑦	須磨（須磨海岸）	須磨海岸再整備事業	神戸市港湾局		○								○	○	
	⑧	県立高砂海浜公園海辺	アオサ回収&アオサ堆肥化	高砂海浜公園海辺の保全集いの会				○	○	○				○		○
	⑨	新舞子海水浴場（新舞子浜）	たつの新舞子ビーチクリーン大会の実施	主催：たつの市・たつの市教育委員会・たつの新舞子ビーチカップ実行委員会		○				○						○
	⑩	相生港海岸鰐浜地区、相生港海岸那波地区	環境保全自然再生活動 相生湾の清掃活動等	相生湾自然再生学習会議		○		○	○	○	○	○	○			○
	⑪	相生湾	あいおい播磨灘の里海づくり協議会での取組	あいおい播磨灘の里海づくり協議会		○	○		○	○	○	○	○			○

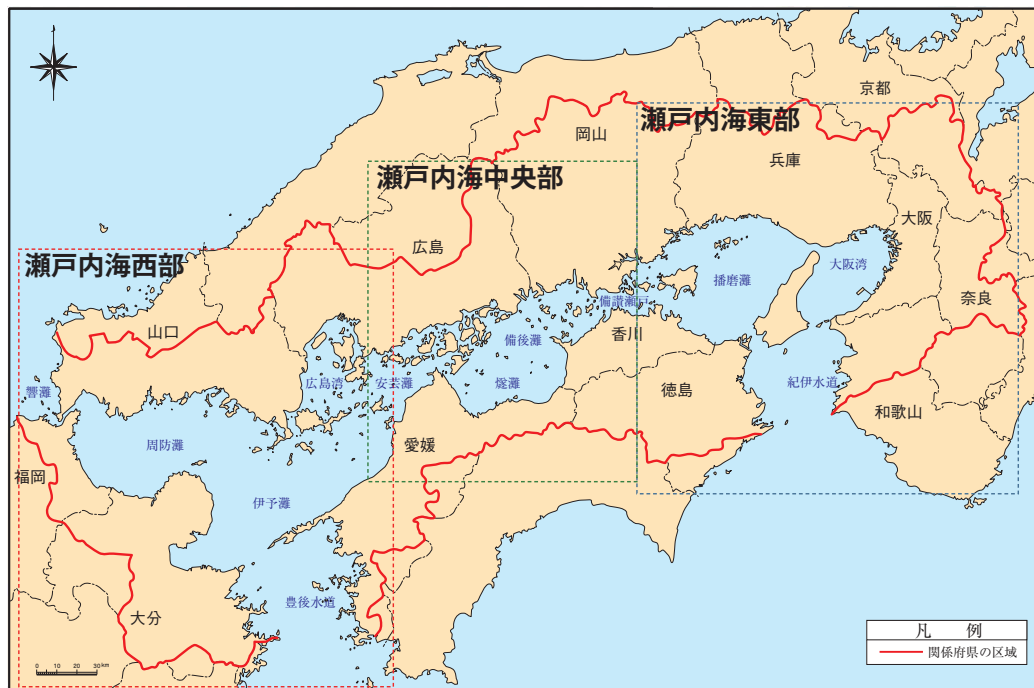
府県名	番号	海・浜辺 の名称	保全の取り組み 名称	実施団体	景観資源区分					主な取り組み 内容					実施 体制	
					多島海美	渚・白砂青松	特異地形・地質	半自然・人工海岸	その他	清掃	植生（生物）保護	調査研究	研修会・学習会	その他	単独	連携
兵庫県	⑫	由良湾・由良瀬戸・成ヶ島	成ヶ島の海浜植物・干潟の生きものを保全する為の清掃	国立公園成ヶ島を美しくする会（成美会）		○	○			○	○	○	○			○
岡山県	⑬	矢寄ヶ浜	平成 30 年度瀬戸内市水産業振興事業（漁業体験活動）	牛窓町漁業協同組合（同青壮年部）		○				○	○			○	○	
	⑭	備讃瀬戸（下浦海水浴場）	海ごみ拾い・磯の生き物観察会	笠岡市、笠岡市環境衛生協議会		○				○			○			○
広島県	⑮	ベイサイドビーチ坂 海岸	ビーチクリーンアップ作戦	NTTドコモ 中国グループ		○		○		○					○	
	⑯	大野処理場周辺の浜辺	海辺の清掃	SSFC 海辺の清掃実行委員会		○				○					○	
	⑰	永田川河口干潟	干潟の清掃活動及びアマモの保全	永田川カエル倶楽部					○	○	○					○
	⑱	釣附海岸	干潟観察会、広島ジュニアサイエンスフェア（研究発表会）	広島干潟生物研究会	○	○	○					○	○	○		○
	⑲	長浜第一公園の海岸（三角浜）	三角浜の海浜清掃	呉市立広南中学校		○				○						○
	⑳	向島 ^{ひしお} 干汐海岸	干汐海浜の清掃活動	尾道市立高見小学校		○				○						○
	㉑	しやごしの浜	地域活動	福山市立内海小学校		○				○	○				○	
	㉒	広島県 県民の浜海水浴場 / 呉市 狩留家海浜公園	海岸清掃	富士ゼロックス広島フィッシングクラブ		○				○					○	
山口県	㉓	虹ヶ浜海岸	虹ヶ浜海岸のクズの撤去作業及び海岸清掃	ひかりエコメイト		○			○	○	○		○			○
	㉔	下関市長府浜浦町地先の自然海浜	「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃	下関海の日協賛会		○				○						○
香川県	㉕	有明浜	有明浜クリーン作戦	有明浜を美しくする会		○				○	○				○	

府県名	番号	海・浜辺 の名称	保全の取り組み 名称	実施団体	景観資源区分					主な取り組み 内容					実施 体制	
					多島海美	渚・白砂青松	特異地形・地質	半自然・人工海岸	その他	清掃	植生（生物）保護	調査研究	研修会・学習会	その他	単独	連携
香川県	②⑥	観音寺市地先	漂流、漂着物、堆積物処理	観音寺漁協活動組織		○				○						○
	②⑦	女木島海水浴場	女木島海水浴場の海岸清掃	鬼ヶ島観光協会 女木コミュニティセンター		○				○						○
	②⑧	坂出海岸沙弥地区、松ヶ浦海岸等	リフレッシュ瀬戸内	坂出市（瀬戸内・海の路ネットワークの加盟団体）		○	○		○	○						○
	②⑨	坂出港港湾区域等	坂出清港会陸上清掃事業及び海上清掃事業	坂出清港会					○	○					○	
愛媛県	③⑩	森の大谷海岸	クリーン伊予運動他	伊予農業高等学校 伊予市環境保全課 ふれあいクラブ 伊予市愛護班連合会			○			○						○
	③⑪	唐子浜	老松への樹幹注入	今治市		○					○				○	
	③⑫	松原海岸（松原海水浴場）	海岸清掃 枯松の撤去 松の植栽	上島町		○				○	○				○	
	③⑬	高須海岸	リフレッシュ瀬戸内	西条市海事振興会		○				○					○	

注：本表中の「景観資源区分」は表２－４中の「景観の特徴」での記載から下記の通り集約した。

- ①多島海美視点場 ⇒ 多島海美
- ②砂浜・礫浜、海水浴場、海岸植生（白砂青松等） ⇒ 渚・白砂青松
- ③砂嘴・砂州、岩礁、海食崖・洞 ⇒ 特異地形・地質
- ④紹介文章中に造成等の記載がある事例 ⇒ 半自然・人工海岸
- ⑤その他として記載がある事例 ⇒ その他

【区分図】



【瀬戸内海東部（紀伊水道・大阪湾・播磨灘）】



図2-4-1 海・浜辺の保全の取り組み事例の実施場所

【瀬戸内海中部(備讃瀬戸・備後灘・燧灘)】



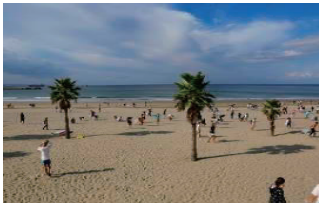
【瀬戸内海西部(広島湾・伊予灘・周防灘・豊後水道・響灘)】



図2-4-2 海・浜辺の保全の取り組み事例の実施場所

表2-4 瀬戸内の海・浜辺の保全の取り組み事例

エコ&サーフ磯の浦ビーチクリーンフェスタ (事例 No. ①)

海・浜辺の名称	磯の浦海岸（磯の浦海水浴場）		所在地	和歌山市磯の浦 地先
景観の特徴	海水浴場			
海・浜辺の紹介				
ハマヒルガオ等の海浜植物も多くみられる、自然あふれる海水浴場。大阪から一番近いサーフィンスポットとして、初心者から上級者まで幅広く親しまれている。海水浴期間中は、サーフポイントと遊泳区域をエリアで区別している。				
				
活動団体名	公益社団法人和歌山県体育協会加盟 和歌山県サーフィン連盟			
連絡先住所	〒641-0002 和歌山県和歌山市和歌浦南一丁目2番15号	Email	iriguchi_h0001@pref.wakayama.lg.jp	
		HP	http://wsa-wakayama.com/	
代表者名	会長 梅本 利樹	会員数	1,800 名	
活動の経緯及び概要	関西における「サーフィン発祥の地」として古くから親しまれている磯の浦海岸（通称：イソコ）において、「いつもお世話になっている地域の皆様と大切な海に感謝の気持ちを込めて」を合い言葉に、海や自然を大切にすることの醸成と関西のサーフィン文化の向上を目的に、関西のサーファーが一同に集結し、海岸の清掃活動を行っている。当活動は平成4年（1992）にスタートし、毎年1,000人を超すサーファーが集まり、今年で26年目を迎える。海を愛し海を利活用するサーファーとして、サーフマインドを活かした次世代に美しい海を存続、海への恩恵に感謝、自然環境保全を目的に、海岸清掃活動に寄与する事を目的とする。			
主な活動内容	清掃			
実施体制	単独 連携（ ）			
最近の主な活動実績	2017年9月3日 2018年9月2日 （活動内容） 毎年、9月の第一週目の日曜日に磯の浦海岸 他の海岸清掃を実施。			
活動継続のための手法	資金：会場設営や看板等を全て手作りによるボランティアで行っている。ゴミ袋については自治体等から協賛、ゴミ処分については、管理運営している（一社）マリンパーク磯の浦の協力を得ている。 人材育成：26年間継続してきた事業であるため、事業運営を通じ、連盟のスタッフを中心に活動継続に向けた教育を行っている。日常においては、海を大切にする事の大切さを常に伝え、当イベント以外の日常でのビーチクリーンの啓発等も行っている。 連携方策：和歌山県サーフィン連盟を中心に、関西の各サーフィン連盟及びサーフショップが互いに連携・協力し、活動を支援している。また、毎年行う継続事業のため、参加者一人一人が個人のつながりで、SNSやメール等を活用し、催事の周知をしている。			
活動の効果	西日本を代表するサーフィンの人気スポットであるため、年間を通じ波のある日は、約1kmの海岸に早朝より1,000人を超すサーファーが集まる。海岸清掃開催時は、全員が海から上がり、誰一人、海に入っていない状態で約2時間、海岸の清掃を行うという全国でも類を見ない活動となっている。こうした活動手法が、共に海や自然を大切にする意識の醸成となり、日常の海岸美化や環境問題への意識の醸成につながっている。また、特に近年は、家族連れの参加者が非常に多く、親から子へ、みんなで自然を大切にする活動機会としても活かされている。			
その他	今後の課題として、参加者の拡大と長期的な事業継続のため、協賛等の資金調達が大きな課題となっている。引き続き事業を継続し、関西のサーフィン文化として育んでいきたい。当事業の参加をきっかけに、参加者が、あらゆる機会において街や自然を大切にすることの心を培い、自らが行動主体となって活躍いただけることを願い、引き続き活動を継続していきたい。			
関連する生物種、希少種等 は希少種				
生物種：未調査 希少種：未確認				

自然公園内の清掃及び学習会

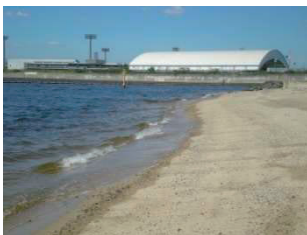
(事例 No. ②)

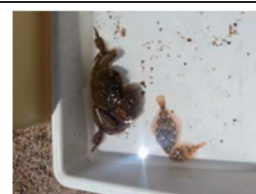
海・浜辺の名称	白崎海岸	所在地	和歌山県日高郡由良町大引
景観の特徴	砂浜・礫浜	岩礁	海食崖・洞
海・浜辺の紹介			
白崎半島は、2億5千万年前に生成された石灰岩でできた海岸であり、日本列島の中で、岬の突端に巨大な石灰岩体があるのは白崎海岸だけである。生き物が堆積してできた岩石であるので石灰岩の中には、多くのウミユリやフズリナの化石が含まれていることが確認できる。 また、日本の渚100選や新日本歩く道紀行100選に選ばれており、白崎海岸県立自然公園内の白崎海洋公園展望台から見える夕陽が日本の夕陽100選に選ばれている。			
活動団体名	和歌山県立白崎青少年の家		
連絡先住所	〒649-1123 和歌山県日高郡由良町大引 961-1	Email	shirasaki@zb.ztv.ne.jp
		HP	http://shirasaki.pya.jp
代表者名	山本 匡	会員数	
活動の経緯及び概要	本活動に至るまでに、漂着ゴミによる汚染が確認されており、白崎海岸の景観が損なわれていた。この課題に対する対策として清掃活動及び啓蒙活動によって、自然公園の保全に繋げる活動を行うこととなった。和歌山県立白崎青少年の家では、子ども会やスポーツ少年団等の団体を受け入れ、自然公園内の清掃活動や学習会を主催することで自然公園の環境保全を行っている。		
主な活動内容	清掃 研修会・学習会		
実施体制	単独 連携（ ）		
最近の主な活動実績	・平成 28 年 9 月 17 日 (活動内容) 施設主催の事業において、参加した子どもたちとハブ方海岸の清掃及び環境について事後研修を行った。 ・平成 30 年 6 月 3 日 (活動内容) 施設主催の事業において、白崎の石灰岩の地質学習を行い、石灰岩の形成に至る歴史やフズリナやウミユリ、珊瑚の化石を探した。 		
活動継続のための手法	資金：和歌山県から指定管理者に指定され、運営している。(指定管理料) 人材育成：一般向け学習会。イベントには毎回、一定の参加者はあるため、これによる効果があると考えられる。 連携方策：ホームページなど電子媒体、チラシなど紙媒体を使った広報、また、研修で訪れた団体と共に活動を行っている。		
活動の効果	清掃活動を通して、ウミネコの繁殖地の保全に寄与することが出来た。また、子どもたちに環境保全活動への興味を持たせ、白崎海岸県立自然公園についての歴史や重要さを学ばせる機会を作ることが出来た。本活動により、白崎海岸県立自然公園の保全に貢献出来たと考える。		
関連する生物種、希少種等		は希少種	
生物種：未調査 希少種：未確認			



(事例 No. ③)



海・浜辺の名称	堺浜自然再生ふれあいビーチ	所在地	大阪府堺市堺区築港八幡町地先
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介			
この砂浜は、堺市北港の北泊地において、臨海部の生物多様性の回復・保全に向けた「実験」の場として造成。 砂浜の造成には近隣の和泉川の浚渫土砂を有効利用し、表面の砂は佐賀県唐津産の海砂を用いている。 砂浜の大きさは、延長約 160m、幅約 30 から 40mで、面積は約 5, 000 m²。 造成後は、堺の海の自然再生に向け、定期的に水質や生物の調査や海浜造成用材の環境実験を実施している。			
活動団体名	一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア（CIFER・コア）		
連絡先住所	〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 130 番地 42 さかい新事業創造センター内	Email	cifer-bureau@cifer-core.jp
		HP	http://cifer-core.jp/
代表者名	上嶋 英機	会員数	正会員 37 社、賛助会員 33 社
活動の経緯及び概要	この砂浜は堺市が造成したものであるが、CIFER・コアでは、砂浜の一部を借用してカルシア改質土や水質浄化の実証実験を進めている。また、2013 年度には大阪府アドプト・シーサイド・プログラムの団体としても認定を受けるなど、CIFER・コアにとってはホームグラウンドといえる存在になっている。 清掃活動は漂流物等のゴミが多いことから 2013 年 5 月に開始し、2015 年度からはこの砂浜で生き物観察会を実施していた公益社団法人大阪自然環境保全協会とも連携して活動を進めており、現在に至っている。 ・美化清掃活動 ・生き物観察		
主な活動内容	清掃 学習会		
実施体制	単独 ☒ 連携（公益社団法人 大阪自然環境保全協会）		
最近の主な活動実績	・2017 年 5 月 13 日 (活動内容) 磯の生き物の観察 砂浜の清掃 ・2018 年 5 月 12 日 (活動内容) 磯の生き物の観察 砂浜の清掃  		
活動継続のための手法	資金：自己資金（会費収入等） 人材育成：活動継続のための人材育成については、特に意識して進めていないが、活動に参加してくれる方々には生き物生息の場の重要性等について理解が広がっているものと考えている。 連携方策：大阪府アドプト・シーサイド・プログラムの団体に認定されたことが大きく、大阪府港湾局からも取り組みへの支援を受けている。また、大阪自然環境保全協会とも連携していることも活動継続につながっている。		
活動の効果	堺浜の維持管理、臨海部の生物多様性の回復・保全に向けた「実験」に一定の寄与ができていると考えている。また、生き物観察会の参加者には、生物多様性の重要性についての理解も深まっていると考えている。		
関連する生物種、希少種等		☐	は希少種
○野鳥：チョウゲンボウ、カウ、ハツ、カイツブリ、ウミイサ、ツミ、イサギ ○植物：マツバ、ウツリ ○動物：貝類、甲殻類、魚の稚仔魚等			
希少種は未確認			



二色浜稚魚放流（二色浜クリーン作戦を含む）
二色浜のアマモ場調査と観察

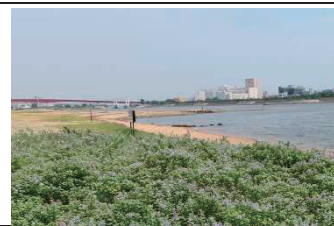
（事例 No. ⑤）

海・浜辺の名称	貝塚市 二色の浜	所在地	貝塚市澤
景観の特徴	海水浴場		
海・浜辺の紹介			
大阪府下で海水浴ができる場所。春には潮干狩り、夏は海水浴客でにぎわう。 砂浜中にはアマモ場が形成され、稚魚の寝床になっている。 また、ビーチクリーンや稚魚放流を行い環境保全に努めている。			
活動団体名	貝塚市立自然遊学館		
連絡先住所	〒597-0091 貝塚市二色3丁目26-1	Email	shizen@city.kaizuka.lg.jp
		HP	www.city.kaizuka.lg.jp/shizen/index.htm
代表者名	高橋 寛幸	会員数	無し
活動の経緯及び概要	大阪府下で海水浴ができる砂浜のゴミ拾いと浜からの稚魚放流を毎年行い、環境美化意識の向上を図っている。また、砂浜中にはアマモ場が育ち、稚魚の育つ場所になっていることから、4年前からアマモ場の調査と生きもの観察を行っている。 年間行事として6月に二色の浜稚魚放流と砂浜クリーン作戦を行っている。7月にはアマモ場の調査と観察会を2日間にわたり行っている。		
主な活動内容	清掃 調査研究（アマモ）観察会（アマモ）		
実施体制	単独 ☒ 連携（大阪府漁業振興基金栽培事業場）		
最近の主な活動実績	2018年6月23日 二色の浜稚魚放流とビーチクリーン作戦 （活動内容） 栽培事業場から提供を受けた稚魚の放流と放流前に参加者でビーチクリーンを実施 2018年7月14日 二色の浜のアマモ場調査 15日アマモ場観察会 （活動内容） 二色の浜海水浴場から北に移動した場所にアマモ場が形成され、アマモ場の調査（依頼した講師と共に）、観察会（市民の参加者と共に）		 
活動継続のための手法	資金：稚魚放流は大阪府漁業振興基金栽培事業場栽培漁業センターから提供を受け、クリーン作戦ではNPO 法人大阪府海域美化安全協会から消耗品を提供していただき、アマモ場の調査観察では日本財団船の科学館からの助成金で行っている。 人材育成：主に小学生と保護者を対象とした行事であるが、一緒に乳幼児も参加し、環境美化作業に従事していることから、海をきれいに、砂浜をきれいにし、人や生きものが安心して過ごせる場所づくりの意識は育っている。 連携方策：目的を共有し、事業協働する関係を見つけ出ししながら、連携を深めるとともに、連携の幅を広げていくことが大切である。 その他：その年やその時期の話題になる生きものや現象などを事業に取り入れたり、行事に参加することで、人々が興味を持つような事業を計画するよう心掛けている。		
活動の効果	参加者アンケートを取り、まとめてみると、海を大切にしなければならないと思った、や生きものの住みやすい環境を作ることが大切である、などの感想が多かったことから、効果はあると考える。		
その他	海的环境は山や川的环境と大きく関係することが分かった。		
関連する生物種、希少種等		☒ は希少種	
○野鳥：オオメダイチドリ、シロチドリ、コチドリ ○植物：コウボウシバ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ ○動物：クロダイ、メジナ、クサフグ アマモ場にて： ☒ モロハタマキビ、 ☒ ウミナメクジ、 ☒ マツモウミウシ、 ☒ ヒメイカ、 ☒ ヨウジウオ			
希少種：アマモ場で見つけられた大阪府でも珍しい生きもの			

御前浜・香櫨園浜等における環境保全活動

(事例 No. ⑥)

海・浜辺の名称	御前浜・香櫨園浜、今津浜	所在地	兵庫県西宮市西波止町、大浜町、今津西浜町	
景観の特徴	砂浜・礫浜、海岸植生（白砂青松等）			
海・浜辺の紹介	六甲山系の東端を源流とする夙川の河口に広がる御前浜・香櫨園浜は、兵庫県の阪神間に残された貴重な自然海岸である。都市部にありながら、多様な生き物が生息している。「兵庫県版レッドデータブック」で貴重な生態系、自然景観 B ランクに指定され、「ハマヒルガオ、コウボウシバ等を含む海浜植物群落」は貴重性 C ランクに指定されている。御前浜の東に位置する今津浜も、小さいながらも生き物たちの住処になっており、今津灯台（西宮市指定文化財）と一体的な景観を形成している。			
活動団体名	浜・川・山の自然たんけん隊			
連絡先住所	〒662-0933 西宮市西波止町 6-33-301 栗野真造（事務局長） 方	Email	awaumi22@wi.kualnet.jp	
		HP	http://sizentanken.blog.fc2.com/	
代表者名	栗野光一	会員数	約 20 名	
活動の経緯 及び概要	海ゴミ、外来植物の繁殖、踏みつけ、過剰な除草等、生き物の生育環境に対する課題があることから、地域住民を中心として広く活動への参加を呼びかけ。2013 年 8 月から毎月 1 回の定例活動（海岸清掃、自然観察・環境学習、マイクロプラスチック問題や高潮・津波防災等の学習会など）を実施。台風などで漂着ごみが大量の場合は、臨時に清掃活動。地元の県立高校の海岸における環境学習活動の支援も実施。（写真は、2018 年 9 月の台風 21 号高潮による漂着ごみ収集風景）			
主な活動内容	清掃 植生保護 調査研究 研修会・学習会			
実施体制	単独 <u>連携</u> （「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」「環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム」認定、「西宮自然保護協会」「香美会」共催）			
最近の主な 活動実績	2017 年度 ・フィールド事業（毎月第 1 土曜日を中心に年 25 回開催） ・御前浜 20 回、香櫨園浜 3 回、今津浜 2 回 ・参加者のべ 482 名（うち子ども・青少年 181 名）、収集ごみ重量 643.9kg ・クリーンアップ活動（通年）、コウボウシバ保全（4 月）、アメリカネナシカズラなど外来植物除草（5 月）、海の生き物探し（6 月）、オオフトバムグラなど外来植物除草（7 月）、海岸植物学習会（8 月）、香櫨園浜の歴史学習（9 月）、津波防災学習（11 月）、貝のリース作り（12 月）、貝あわせ作り（1 月）、冬の渡り鳥観察（2 月）、凧揚げ・津波防災学習（3 月） ・ハマダイコン・ハマヒルガオなど海浜植物調査（4 月）、ハクセンシオマネキ・ハマゴウ・昆虫など調査（8 月）、ジャコウアゲハ蛹の調査（3 月） 2018 年度は、前年度の取り組みを継続するのに加え、台風 20 号・21 号の高潮による漂流・漂着ごみ対応として、ボランティア団体やボーイスカウト等と連携して臨時的クリーンアップを複数回にわたり実施。また、11 月と 2 月には高潮防災に関する学習会を実施した。			
活動継続のための 手法	資金：自己資金（会費収入等）、助成金。 人材育成：一般向け学習会・役員向け研修の実施。イベントには毎回、一定の参加者はあるものの、役員・世話人等として会の運営に新たに携わる方が出てこないことが課題である。 連携方策：ホームページなど電子媒体、チラシなど紙媒体を使った広報。また、近隣で活動する環境活動団体との交流を行い、情報交換などを行っている。 その他：台風 21 号では浜辺の倉庫が被災流失。今後も災害が多発しないか心配。			
活動の効果	御前浜・香櫨園浜等の貴重な植物群落（コウボウシバ等）などの保全に一定の寄与ができています。クリーンアップ等の活動に、遠隔地を含め、多いときで 100 名以上の参加があり、身近な自然を守る機運を高めることができていると考えます。			
関連する生物種、希少種等				は希少種
・野鳥：スズガモ、キンクロハジロ、カンムリカイツブリ、ハマシギ、チュウシャクシギ等 ・植物：ハマゴウ、ハマボウフウ、コウボウシバ等 ・動物：ハクセンシオマネキ、イソガニ、ヒライソガニ等 ・貝類：イシダダミ等（写真は、ハマシギ）				



(事例 No. ⑦)



アオサ回収&アオサ堆肥化

(事例 No. ⑧)

海・浜辺の名称	県立高砂海浜公園海辺	所在地	高砂市高砂町向島																																																								
景観の特徴	砂浜・礫浜 海岸植生																																																										
海・浜辺の紹介	私たちの住む東播磨地域の海岸線は、昔から白砂青松で名高い景勝の地でした。その遠浅の海が全て埋め立てられ、今や播磨臨海工業地帯に変貌し、市民が自由に海辺に遊ぶことすら許されない状況です。そこで、地域住民による「渚をもう1度」との強い要請により作られた海浜公園、その海辺が荒れ放題なので、先ず「ヘドロの原因であるアオサ」を回収し、回収した「アオサ」を堆肥として有効に利用する「アオサ堆肥化プロジェクト」の実施及び運営を行っています。 																																																										
活動団体名	高砂海浜公園海辺の保全集いの会																																																										
連絡先住所	〒676-0012 高砂市荒井町中新町 8-13	Email	Kid09701@bb.banban.jp																																																								
		HP	なし																																																								
代表者名	吉政 静夫	会員数	20 名																																																								
活動の経緯及び概要	高砂海浜公園内の海辺では、春～夏季に海藻の「アオサ」が大量発生し、それらが景観を損ねると共に、水質・底質の悪化（ヘドロの堆積）の原因となっています。そのアオサを定期的に回収し、高砂海浜公園の環境改善に貢献して、その後、高砂海浜公園内海辺での「地曳き網漁体験学習&汐干狩」を年間3回程度実施します。その他、季節の土、日、祝日前には会員によるアオサ回収&海辺の清掃を行っています。																																																										
主な活動内容	清掃 その他（大量発生のアオサ回収・堆肥化作業）																																																										
実施体制	単独 連携 （ 高砂漁業組合・伊保漁業組合 ）																																																										
最近の主な活動実績	平成 30 年 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>月日</th><th>曜日</th><th>対象者</th><th>会員</th><th>参加人数</th><th>回収 カゴ</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td><td>4/22</td><td>日</td><td>市役所</td><td>20</td><td>140</td><td>130</td><td>アオサ回収・地引網体験/ 潮干狩り・干潟の観察</td></tr> <tr> <td>3</td><td>6/7</td><td>水</td><td>高砂小学校</td><td>15</td><td>58</td><td>66</td><td>アオサ回収・潮干狩り</td></tr> <tr> <td>4</td><td>7/1</td><td>日</td><td>高砂高校生</td><td>10</td><td>26</td><td>35</td><td>アオサ回収・潮干狩り</td></tr> <tr> <td>5</td><td>7/8</td><td>日</td><td>高砂レクレ イション協</td><td>10</td><td>54</td><td>105</td><td>アオサ回収・地引網体験</td></tr> <tr> <td>6</td><td>9/1</td><td></td><td>高砂ライオ ンズクラブ</td><td>6</td><td>43</td><td></td><td>台風の後・ 瓦礫の清掃</td></tr> <tr> <td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 				月日	曜日	対象者	会員	参加人数	回収 カゴ	摘 要	2	4/22	日	市役所	20	140	130	アオサ回収・地引網体験/ 潮干狩り・干潟の観察	3	6/7	水	高砂小学校	15	58	66	アオサ回収・潮干狩り	4	7/1	日	高砂高校生	10	26	35	アオサ回収・潮干狩り	5	7/8	日	高砂レクレ イション協	10	54	105	アオサ回収・地引網体験	6	9/1		高砂ライオ ンズクラブ	6	43		台風の後・ 瓦礫の清掃	7							
	月日	曜日	対象者	会員	参加人数	回収 カゴ	摘 要																																																				
2	4/22	日	市役所	20	140	130	アオサ回収・地引網体験/ 潮干狩り・干潟の観察																																																				
3	6/7	水	高砂小学校	15	58	66	アオサ回収・潮干狩り																																																				
4	7/1	日	高砂高校生	10	26	35	アオサ回収・潮干狩り																																																				
5	7/8	日	高砂レクレ イション協	10	54	105	アオサ回収・地引網体験																																																				
6	9/1		高砂ライオ ンズクラブ	6	43		台風の後・ 瓦礫の清掃																																																				
7																																																											
活動継続のための手法	資金：兵庫県：こころ豊かな東播磨推進会議：助成金：400,000 円 イオン環境活動助成金 500,000 円 会員 20 会費 100,000 円 連携方策：地域の小・中・高生：希望者と連携して海辺の清掃活動。																																																										
活動の効果	地域の住民が協力して1つの目標に向かって作業を行い、コミュニケーションを深めることが重要である。 海浜公園に愛着を深め、ボランティア活動にも積極的に参加することの楽しさを覚える。																																																										
関連する生物種、希少種等 ハクセンシオマネキ は希少種																																																											
○植物：ハマヒルガオ ○動物：ハクセンシオマネキ ハクセンシオマネキ 																																																											

たつの新舞子ビーチクリーン大会の実施

(事例 No. ⑨)

海・浜辺の名称	新舞子海水浴場（新舞子浜）	所在地	たつの市御津町黒崎
景観の特徴	海水浴場		
海・浜辺の紹介			
日本有数の干潟の名所として知られ、春は潮干狩り、夏は海水浴客でにぎわう新舞子浜。遠浅の砂浜が東西約1キロにわたって広がる。11月から2月にかけて、日の出と干潮時刻が重なる日に、引き潮が砂浜に造りあげた独特な模様を見ることができる。 しかし近年、干潟の砂が新舞子浜の東側に流され、西側の浜がやせてしまう現象が発生。そのため、平成24年及び26年に堆積した東側の砂を再び元に戻す浚渫工事が行われた。			
			
活動団体名	主催：たつの市・たつの市教育委員会・たつの新舞子ビーチカップ実行委員会		
連絡先住所	〒679-4192 兵庫県たつの市龍野町富永 1005-1	Email	taiikushinko@city.tatsuno.lg.jp
		HP	
代表者名		会員数	
活動の経緯及び概要	平成28年より実施。「みんなで楽しくクリーンアップスポーツ！ チームで清掃活動の成果を競い、心も環境もクリーンに！」と掲げるビーチクリーン大会を開催し、新舞子浜の清掃活動を実施。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 <u>連携</u> （兵庫県ホンダ会）		
最近の主な活動実績	2018年 7月14日 （活動内容）「第3回たつの新舞子ビーチクリーン大会」の実施 ・概要 「第5回たつの新舞子ビーチカップ」（ビーチバレー）の開催に先駆け、会場となる新舞子浜の清掃活動を競技性を持ったスポーツに変え、楽しんで競いながら海をきれいにすることを目的とした、ごみ拾いのスポーツ大会を開催。 昨年に続き、兵庫県ホンダ会が大会に併せバギーを使った清掃活動を行った。 ・参加者 21チーム、134人 ・回収量 561.31kg		
			
活動継続のための手法	資資金：参加賞・賞品（飲み物等）や資材（ゴミ袋等）に使用。 人材育成：参加者の確保、清掃活動に取り組みやすい環境づくりを図る。 連携方策：他団体や企業との協力・連携の拡充が必要。 その他：周知方法の見直し、拡大が必要。		
活動の効果	清掃活動を競技性を持ったスポーツ大会として開催することにより、大人から子どもまで幅広い年齢層の方に参加していただき、清掃活動の楽しさや大切さを確認することができた		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
生物種：未調査 希少種：未確認			



環境保全自然再生活動 相生湾の清掃活動等

(事例 No. ⑩)

海・浜辺の名称	相生港海岸鰐浜地区、相生港海岸那波地区		所在地	相生市相生、相生市那波本町
景観の特徴	渚　その他（干潟）			
海・浜辺の紹介 相生湾は相生市の中心部に位置し、湾奥部は埋立てが進められ、湾の海岸のほとんどが人工海岸となっている。しかし、湾口部から外側は雄大な自然海岸であり、金ヶ崎の万葉岬は眺望に優れ万葉集にも歌われた景勝地である。 相生湾に流入する河川としては東方の芋谷川と西方の佐方川であるが、いずれも流量は小さく、上流からの土砂の流入は少ない。   波静かな相生湾・牡蠣のイカダと葛島 鉄砲山海岸の全景				
活動団体名	相生湾自然再生学習会議			
連絡先住所	〒678-0054 相生市那波西本町 17-22	Email	s.k.matsumura1530@maia.eonet.ne.jp	
		HP		
代表者名	松村　晋策	会員数	25	
活動の経緯及び概要	かつては相生湾も海や山々の美しい入り江で、子供たちも泳いだり、「カブトガニ」や汽水域ではシジミ貝やカラス貝、天然の鮎が見られ、相生市指定天然記念植物シバナが多く茂っていた。湿地帯には葦も多く茂り、オニヤンマやギンヤンマも多くいた故郷の原風景だった。その豊かな自然が無くなり、埋め立てなど自然破壊が進み相生湾を取り巻く環境も一変、生活排水、工場排水、大気汚染による酸性雨や温暖化などで、干潟生物も多く死滅した。干潟は天然の下水処理場といわれるくらいの浄化能力がある。微生物を含む様々な生物による浄化や、海藻など生物の繁殖にも役立つ食物連鎖が形成されていた。故郷相生湾の自然を再生し、少しでも綺麗にして未来人に繋いでいくことが私達の責任であり義務であろうと活動している。 平成 16 年より、相生湾を 60 年前の様な自然豊かな里海に蘇らせ、次世代に繋いでいくことを目的に活動を開始。相生港の水質浄化活動と湾岸清掃、相生市天然記念物「シバナ」の保全と里海づくり、干潟の学習と干潟生物調査、「アマモ場」を蘇らせる取組、「アマモ場」に生息する生物調査、相生湾の豊かさを体感する環境体験学習などを行っている。			
主な活動内容	清掃　植生保護　調査研究　研修会・学習会			
実施体制	単独 連携 （相生市立那波小学校等、相生市立相生小学校、相生子ども里海クラブ）			
最近の主な活動実績	・平成 28 年 12 月 （活動内容）相生市那波鉄砲山海岸に養浜のため、砂を 28 トン投入し「塩生植物」の保護活動を行った。（ポート波により海岸の砂が減少し、塩生植物が激減しているため） ・平成 29 年 7 月～9 月 （活動内容）中学生、高校生が参加する鉄砲山海岸の養浜事業を行った。3 年間で砂を 105 t 投入し巾 5m 長 150m の養浜を行った。   			
活動継続のための手法	資金：助成金・会費・募金 人材育成：自然環境や海岸の生物に興味のある若い方に活動する時に案内している。 連携方策：相生小、那波小、姫路白浜小と環境体験学習を実施。地元小学校と相生子ども里海クラブと連携しながら年間計画を作成している。			
活動の効果	那波港の透視度が当初（10 年前）1m が 2m と 2 倍もよくなった。これまでの活動を評価され、平成 26 年 12 月 19 日に環境省水・大気環境局長賞を受賞した。アマモ場は相生湾でも干潮帯に見ることができるようになった。稚魚などが多く生物多様性が豊かになっており、生物調査による評価では水質は B 評価、生物指標は A 評価の豊かな海になっている。			
関連する生物種、希少種等 は希少種				
○野鳥： 未調査　○植物：シバナ、アマモ　○動物：牡蠣、チリメンモンスター シバナはシバナ科の塩沼地に生息する多年生の植物。地下茎は太くはりヒゲ根を出し、葉は緑色の線形をなし 6 月～10 月ごろに黄味をおびた白色の花をつける。このシバナ群落は、適当に淡水がまざり満潮時には水没し、干潮時には干潟となるような場所で生育。分布地域は北海道から九州まで広範囲だが、生育条件が限られるので瀬戸内海地域では広島県の宮島と当地のみで大変希少価値のある植物の一つ。				

あいおい播磨灘の里海づくり協議会での取組

(事例 No. ⑪)

海・浜辺の名称	相生湾	所在地	相生市
景観の特徴	砂浜・礫浜、岩礁、海岸植生（白砂青松等）		
海・浜辺の紹介	南北に深く入り組んだ相生湾は、一部が埋め立てられ、工業団地があるものの、自然の海岸線も多く残されている。湾沖の岬部分は瀬戸内海国立公園になっており、岩場や礫浜が続き、湾の中ほどには、小さいながらも砂浜、干潟があり、湾最奥部にも干潟があり、いずれの場所にも希少な植物、生物が多数生息している。 		
活動団体名	あいおい播磨灘の里海づくり協議会		
連絡先住所	〒678-8585 兵庫県相生市旭一丁目1番3号 (相生市市民生活部環境課)	Email	kankyo@city.aioi.lg.jp
		HP	
代表者名	小山 豊佳	会員数	
活動の経緯及び概要	市内の市民団体、沿岸企業、行政で協議会を設立し、環境学習を中心に活動している。学習の対象として、小学4年生以上の子供20名で里海クラブを作り、その子供たちに、ふるさとの海である相生湾について、様々な体験をすることで、海を肌で感じ、その魅力と現状を知ることにより、相生の海を守り、育てていくのにはどうしたらよいのかを考えている。 また、ふるさと相生への愛着心も育てている。		
主な活動内容	清掃、植生保護、調査研究、学習会		
実施体制	単独 ☒ 連携 ()		
最近の主な活動実績	年間を通して10程度の事業を展開 海岸清掃、稚魚放流会、相生湾の魚をつかみ取りしながら学ぶ、チリメンモンスター調査、カヤック教室、相生湾沖底引き生物調査、おわん島環境体験調査、打上貝調査、打上貝で作品作り、海岸・干潟の生物調査、アマモの育成、釣り大会、カキの養殖体験など 		
活動継続のための手法	資金：相生市からの委託料 人材育成：特に行ってないが、保護者との連携を図っている 連携方策：市が中心となり、調整している その他：有償ボランティア制度を設立し、人材の確保に努めようと計画		
活動の効果	- 子どもだけでなく、その保護者にも相生の魅力が伝えられている。 - 協力していただける専門機関が増えている。 - 事業の計画に際し、子供たちからの提案が増えた		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
甲殻類：兵庫県レッドデータブック掲載種28種の確認（継続調査中） 貝類：兵庫県レッドデータブック掲載種3種の確認（継続調査中） 植物：兵庫県レッドデータブック掲載種9種の確認（継続調査中） 野鳥：兵庫県レッドデータブック掲載種1種の確認（継続調査中）			

成ヶ島の海浜植物・干潟の生きものを保全する為の清掃

(事例 No. ⑫)

海・浜辺の名称	由良湾・由良瀬戸・成ヶ島	所在地	兵庫県洲本市由良町由良
景観の特徴	渚（砂礫浜） 特異地形（砂嘴・砂州）		
海・浜辺の紹介			
淡路島東岸・洲本市由良沖に位置する無人島の成ヶ島。北側／成山 50m～南側／高崎まで約 3 km の砂州により形成、由良瀬戸側は外洋性の砂礫海岸、由良湾側は干潟からなる自然海岸であり、塩沼地、塩沼湿地、真水の池も存在している。海浜性植物が群生し、ウミガメの産卵も認められるほど自然が豊富に残る、生物多様性豊かな島である。一方、海流の影響で、成ヶ島には大阪湾から大量のゴミが漂着し、湾に入ったゴミは残留しやすい。			
活動団体名	国立公園成ヶ島を美しくする会（成美会）		
連絡先住所	〒656-2541 兵庫県洲本市由良 3-8-8	Email	
		HP	
代表者名	花野 晃一	会員数	89人
活動の経緯及び概要	由良沖に面した成ヶ島は、かつて青松で覆われ「淡路橋立」と呼ばれていたが、国民宿舎の閉鎖や渡し船の運休で人が遠のくと、松は枯れ、浜辺は漂着ゴミで埋まる状態になってしまった。本会は、島の豊かさを回復すべく平成元年6月に会員271名で設立、清掃活動を開始、同年に自然環境調査を開始した。松林の復活活動に始まり、現在は、成ヶ島での漂着ゴミの清掃活動（地元の由良中学校と「成ヶ島クリーン作戦」を平成2年度から継続して実施）や、絶滅したと思われるイボウミナナなどを含め約500種の貝の採集保護、特定外来生物の駆除を行うなど、環境保全活動を継続して行っている。		
主な活動内容	清掃 植生保護 調査研究 研修会・学習会		
実施体制	単独 <u>連携</u> （洲本市立由良中学校、各行政機関など）		
最近の主な活動実績	（2018年12月一日） （活動内容）「成ヶ島クリーン作戦」の実施 - 概 要 本団体や由良中学校の生徒などが参加し、海岸の漂着ごみを清掃する「クリーン作戦」を実施。年内に相次いだ台風などで大量に流れ着いた発砲スチロールや空き缶などを1時間かけて拾い集めた。 集まったごみは、国土交通省神戸港湾事務所の海面清掃兼油回収船「Dr.海洋」によって回収された。 - 参加者 約200人（本団体、由良中学校生徒、島内外のボランティアなど） - 漂着ごみの回収量 約300袋		
活動継続のための手法	資金：洲本市助成金、会員会費 人材育成：地元小中学校の児童・生徒への環境学習 連携方策：同上を通じて学校、PTAとの連携。 須磨海浜水族園、大阪海遊館等と調査・研究で協働。		
活動の効果	子供達への環境学習により成ヶ島に生息する生きものを育む生態系（環境）を守る大切さが芽生えた。		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
○植物：<u>アマモ</u>、<u>ハマボウ</u>、<u>ハママツナ</u>、<u>ハマウツボ</u>、<u>コナミキ</u> ○動物：<u>イボウミナナ</u>、<u>ハマシノミガイ</u>、<u>ハクセンシオマネキ</u>、<u>アカウミガメ</u>、<u>アカテガニ</u>、<u>ハマガニ</u>、<u>アサリ</u>、<u>サクラガイ</u> 成ヶ島の由良湾側は干潟が形成され、ハクセンシオマネキをはじめ多くの海岸動物が生息している。干潟の先にはアマモが群生し、稚魚や多くの生物が住み着いている。また成山の北側や東側の山裾は磯浜となっており、干潟とは異なる生物を観察することができる。成ヶ島の植生は豊かで、300種類以上の樹木・草花や500種以上の海岸動物の生息が確認されており、希少種も多く含まれる。			
			



平成 30 年度瀬戸内市水産業振興事業（漁業体験活動）（事例 No. ⑬）

海・浜辺の名称	矢寄ヶ浜	所在地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介		 ・200人以上集まっても地曳網ができる広い砂浜 ・SUPも体験できる、遠浅の浜 ・小豆島が望める景観	
活動団体名	牛窓町漁業協同組合（同青壮年部）		
連絡先住所	〒701-4302 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 3909-1	Email	なし
		HP	jf-ushimado.moo.jp/
代表者名	福江 洋之	会員数	16人
活動の経緯及び概要	本市内の中学生以下の子供を対象とした地曳網による漁業体験を実施し、都市漁村交流による地域活性化を促進するとともに、併せて地元食材を使用した大鍋汁づくり、普及物品の配布等を行い、家庭における魚食機会の向上を図ることで、水産物の消費拡大と地産地消を促進する。 ・稚魚放流などの資源管理 ・植樹などによる漁場改善 ・市内の児童らと地引網を通して漁業体験活動		
主な活動内容	清掃 植生保護 その他（稚魚放流・漁業体験活動）		
実施体制	☒ 単独 ☐ 連携（ ）		
最近の主な活動実績	・30年6月17日 （活動内容） 瀬戸内市内の中学生以下の子どもを対象とした地引網による漁業体験や清掃活動を実施した。 		
活動継続のための手法	資金：自己資金、助成金（瀬戸内市水産業振興補助金） 連携方策：チラシ等により本市全域の中学生以下の子供を対象として参加を呼び掛ける。 その他：近年、増加している自然災害による環境悪化が懸念される。		
活動の効果	地元を中心に子ども、102名 保護者 148名が参加した。大鍋汁を作り、地元の食材のアピールにつなげ、魚食機会向上への良いアピールになった。併せて行っている、クリーンアップ作戦により、浜辺の環境保全も一定の成果を上げている。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種：未調査	希少種：未確認		

海ごみ拾い・磯の生き物観察会

(事例 No. ⑭)

海・浜辺の名称	備讃瀬戸（下浦海水浴場）	所在地	岡山県笠岡市北木島町
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介			
瀬戸内海のほぼ中央に位置する笠岡諸島は、藻場や干潟、砂浜などの自然海岸が多く分布しており、生物の貴重な生息・生育環境が多数存在している。また、自然と親しむレクリエーション活動が盛んな場所である。			
活動団体名	笠岡市、笠岡市環境衛生協議会		
連絡先住所	〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 2369-14	Email	kankyou@city.kasaoka.lg.jp
		HP	http://www.city.kasaoka.okayama.jp/
代表者名	笠岡市長 小林嘉文、会長 大嶋元義	会員数	—
活動の経緯及び概要	瀬戸内海の多様性と海ごみ対策について、自らの体験を通じて知見を広めてもらうため企画した。海岸に漂着した海ごみを回収するとともに、多様な生態系を有する磯の生き物観察会を実施し、瀬戸内海の環境保全意識の高揚を図った。		
主な活動内容	清掃 研修会・学習会		
実施体制	単独 連携 （笠岡市高等学校VYS連絡協議会）		
最近の主な活動実績	・平成 30 年 8 月 3 日 （活動内容） 市内の小学生とその保護者 16 名が参加し、海ごみの回収及び磯の生き物観察会を実施した、また、貝がらや海岸に漂着したガラス片を利用した工作などを行った。		
活動継続のための手法	資金：海ごみ対策補助金（環境省）を活用している。 人材育成：笠岡市高等学校VYS連絡協議会に所属する学生が将来指導者として活躍することを期待して、協力して運営している。 連携方策：笠岡市高等学校VYS連絡協議会との共同運営に加え、笠岡市立カプトガニ博物館の学芸員を講師として招き、イベント開催に係る技術的知識と経験を共有している。		
活動の効果	海ごみ約 400kg を回収した。 生き物観察会を通じて、生物多様性を守る意識の高揚が図られた。		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
○動物：イソガニ、 キタギシマゴクリ ほか 笠岡市北木島町周辺海域は、環境省レッドデータ 2018 に絶滅危惧Ⅰ類として掲載されている、固有種「キタギシマゴクリ」の生息地である。			

(事例 No. ⑮)

海・浜辺の名称	ベイサイドビーチ坂 海岸	所在地	広島県 安芸郡坂町水尻地先
景観の特徴	海水浴場		
海・浜辺の紹介			
広島市内から一番近い海水浴場のベイサイドビーチ坂。広島市内から車で 30 分。国道 31 号線沿いに造られた人工砂浜が約 1200 メートル続きます。夕日や夜景も楽しむことができます。			
活動団体名	NTTドコモ 中国グループ		
連絡先住所	〒730-8566 広島市中区大手町 4-1-8 19F (株)ドコモCS中国 総務部 業務改善・広報担当	Email	cskaizen-ml@nttdocomo.com
		HP	https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/activity/chugoku/beach/index.html
代表者名	平田 一秋	会員数	
活動の経緯及び概要	広島県せとうち海援隊支援事業実施団体と平成 16 年 8 月に「広島県せとうち海援隊支援事業実施に関する契約」を締結し、毎年 1～2 回程度、「ベイサイドビーチ坂」の清掃活動を従業員によるボランティア活動として継続実施している。 アースデイ（4 月 22 日）や世界環境デー（6 月 5 日）に合わせて、毎年 5 月に従業員による海岸清掃のボランティア活動を実施している。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 連携（		
最近の主な活動実績	・H30 年 5 月 26 日 作業時間：約 1 時間 (活動内容) 海岸清掃活動（せとうち海援隊による活動） 参加人数：74 人 成果：45 リットルごみ袋 5 袋分 ・H29 年 5 月 20 日 作業時間：約 1 時間 (活動内容) 海岸清掃活動（せとうち海援隊による活動） 参加人数：117 人 成果：45 リットルごみ袋 4 袋分 		
活動継続のための手法	資金：株式会社 NTT ドコモ 中国支社からボランティア活動費として支出している。 従業員の移動用バス手配及び活動時の飲料等 概算 20 万円／年 人材育成：CSR 活動を従事する担当部門を設けており、活動に関する業務の引き継ぎ等を実施し継続している。 連携方策：「ベイサイドビーチ坂」の近隣である広島文化学園大学に参加募集の声掛けをしている。		
活動の効果	毎年、従業員及びその家族が約 100 名程度、海岸清掃活動に参加することにより、海ごみの問題や実態を知ってもらい、私たち自身がごみを減らさなければ海ごみ問題は解決しないことの理解が深まっている。		
その他	広島はカキ養殖が盛んな県であるため、「ベイサイドビーチ坂」のごみはカキ養殖パイプや発泡スチロール製フロート（カキ養殖筏パイ）が大量に漂着している。他県にも漂着の影響を及ぼしており重要な課題と考える。		
関連する生物種、希少種等		は希少種	
生物種：未調査 希少種：未確認			

海辺の清掃

(事例 No. ⑬)

海・浜辺の名称	大野処理場周辺の浜辺	所在地	呉市下蒲刈町大野海岸
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介	下蒲刈島の西の海に面し干潮時では100m程度、砂浜としては広くない。呉市沿岸や倉橋島等の島嶼部や愛媛県の一部を遠望できる。主に漂着ゴミが目立ち砂浜の景観を害している。ペットボトルや発泡スチロール、食品トレイ等、さらに、カキ養殖用のプラスチックパイプもある。それらの漂着ゴミは強風に飛ばされ潮流で流される物も多い。一方では木材や竹、漁網、番線、漁船の船体の一部などの重量物は流されることなく永くとどまっている。 		
活動団体名	SSFC 海辺の清掃実行委員会		
連絡先住所	〒737-2607 呉市川尻町東 4-5-10	Email	kaipyontjdtf623magtg@orchid.plala.or.jp
		HP	無し
代表者名	和田 啓治	会員数	30 名 H30/8/1
活動の経緯及び概要	「釣り人が捨てたゴミが目立つ」と地域から声が上がっていたのを機に平成 16 年に清掃活動を開始した。放置ゴミの発生する起因を把握とボイ捨て経験がある人や日常的に不法投棄を繰り返している人のモラルに訴え、地球環境保全や自然保護、生態系の保護保全に目覚めてもらえる、また身近なごみ問題に対して意識改革を促せるように、恒久的な活動を目的とする。主に呉市内の海岸線の活動をクラブ員と一般参加者の合同で続けている。主に呉市の海岸線の清掃を年 3~4 回実施している。波止場や漁港周辺、砂浜を清掃対象としている。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 連携 ()		
最近の主な活動実績	・H29 年 10 月 21 日 (活動内容) 呉市倉橋島室尾港の定期清掃 倉橋地区において、ここ室尾港は放置ゴミの減少が見られないワースト地区。毎回の清掃では漁業関係の放置ゴミが目立つ。 ・H30 年 3 月 25 日 (活動内容) 呉市音戸町坪井地区の清掃 釣り人の比較的多い波止場周辺には、やはり釣り人起因と思われる放置ゴミも多く散乱している。大型家電の放置も見られる。これは地域住民あるいは他地域からの持ち込み投棄と考えられる。 		
活動継続のための手法	資金：当初は自己資金で賄っていたが、平成 17 年には呉市から清掃用ボランティア袋を配布してもらうようになった。更に、平成 17 年に広島県せとうち海援隊に認定され軍手、タオル、計量バカリを支給されている。 人材育成：毎回一般参加者を募り、不法投棄の実態を目にしてもらい、参加した人達が地域や組織に帰り、環境保全と生態系の保護を訴え、新たな活動の核になり、より多くの人達と綺麗な地球を後世に残すための環境保全活動に取り組んでもらいたい。 連携方策：広く一般から参加者を募っているため、現在まで他団体との連携はない。同様な活動を行っている団体や漁業関係者には声掛けをして合同清掃を行う意向はある。(地域や漁業関係起因と思われる放置ゴミが多いため。ただし、参加は一度もない。) その他：放置ゴミは決して釣り人起因だけではなく、地元や漁業関係者のものと思われる不法投棄が釣り人のそれよりはるかに多く、景観や環境を犯していることに気づいた。漂着しているプラスチックゴミを目にすることが多い。そのことに比例するように多量のプラスチックゴミが海洋汚染を引き起こし生態系に悪影響を及ぼしている。地球環境保全を実現するために、警鐘と防止効果をより確かなものに拡大するために、活動の継続は必要と考える。		
活動の効果	おおむね活動初期に比べて回収する放置ゴミの量が徐々に少なくなる傾向にある。H16/7 下蒲刈島海岸線一周清掃~H31/3 倉橋・須川港清掃までの延べ参加者数は 976 人。この活動は不法投棄への警鐘と防止効果、環境美化・保全に少なからず貢献し、同様の活動を行う個人・団体等の増加もあり、ゴミの不法投棄を抑える傾向が芽生えている。こうした活動は不法投棄の罪悪感を意識し始め、ゴミ問題・環境保全への啓発に繋がっていると確信する。		
関連する生物種、希少種等		[] は希少種	
生物種：未調査		希少種：未確認	

干潟の清掃活動及びアマモの保全

(事例 No. ⑰)

海・浜辺の名称	永田川河口干潟	所在地	広島県江田島市能美町鹿川字中浜地先
景観の特徴	その他（カキ筏とカキ筏）		
海・浜辺の紹介			
本干潟は、永田川の流下土砂で形成されています。背後には、下流から上流に向かって、文久新開、古新開、新開が約 1.5 km 形成され、昭和の時代までは水田として利用されて来ました。平成の時代になるとモータリゼーションと減反政策により水田から宅地化が進みました。そんな地先に、永田川河口干潟は形成されています。昭和の時代の赤潮発生期にアサリは皆無になりましたが、土深く潜って生息するマテガイは今も健在です。			
			
活動団体名	永田川カエル倶楽部（えいだがわかえるくらぶ）		
連絡先住所	〒737-2302 広島県江田島市能美町鹿川 558-1	Email	consaru-kks@luck.ocn.ne.jp
		HP	
代表者名	池田 朝雄	会員数	22 人
活動の経緯及び概要	2013 年 3 月せとうち海援隊登録しています。 2005 年から、毎年 3 月～ゴールデンウィークまでの大潮にマテガイ採りの実践講習を実施してきました。 活動は、南風が吹く 3 月、5 月、7 月、9 月の大潮に実施します。 干潟環境を保全するには、森里川と繋がっているため、こちらの清掃活動にも取り組んでいます。 すなわち、流域の環境保全活動が、干潟環境保全になるものと考えています。幸い、永田川流域はコンパクトで活動しやすいエリアです。森里川の活動の見える化は図れやすいが、干潟の活動の見える化は困難です。		
主な活動内容	清掃 生物保護		
実施体制	単独 <u>連携</u> （ 江田島市地域支援課 ）		
最近の主な活動実績	2018 年 4 月 29 日 （活動内容）清掃・分別後計量		
			
活動継続のための手法	資金：資材は瀬戸内海保全協会等から受け取っています。 活動者のジュース代は、沿岸道路のアダプト活動費から捻出しています。 アマモやコアマモの生息域計測資材（オフセット測量）は民間団体の助成金により入手しています。 人材育成：本倶楽部は、子どもが主であり、楽しみ遊びながら感性や美化意識の高揚を図っています。 2030 年には、子どもや保護者の体験者数は 200 人近くになると考えています。 その中から、30 年後にでも活動してくれることを期待しつつ活動をしています。 連携方策：ごみの分別指導と収集したごみの処分は江田島市地域支援課が行ってくれています。 計量機器等は、民間団体の助成金で入手しました。 その他：特にありません		
活動の効果	2013 年 3 月にコアマモの群落を確認したが、底引き網に削られ皆無の状況になっている。 2018 年 6 月タイラギガイの群生確認。		
その他	海ごみはなかなか減らない？ 活動の見える化や、広島県や江田島市の広報活動が急務と考えます。 今年は、7 月豪雨と 9 月の長雨で 2 回活動できませんでした。		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
○植物：アマモ、コアマモ			
○動物：マテガイ、タイラギガイ			
希少種は存在しない			

干潟観察会、広島ジュニアサイエンスフェア（研究発表会）（事例 No. ⑱）

海・浜辺の名称	釣附海岸	所在地	江田島市大柿町深江
景観の特徴	多島海美視点場	砂浜・礫浜	砂嘴・砂州 岩礁
海・浜辺の紹介			
能美島のほぼ南端に位置する。潮が引くと茶臼山と呼ばれる双子の島まで歩いて渡れる。（写真の後方の島） 周辺に人家がなく、自然度が高く生物も多い。			
活動団体名	広島干潟生物研究会		
連絡先住所	〒733-0812 広島市西区己斐本町 1-24-7-201	Email	higataken98@yahoo.co.jp
		HP	http://joho33.wixsite.com/hiroshima-higata
代表者名	政木 恵美子	会員数	シニア 13 名、ジュニア 53 名
活動の経緯及び概要	「市民に地域の豊かな自然を認識してもらおう。」を趣旨に 2013 年度から広島デルタの感潮域で、希少種の生息の確認や毎年写真展などを通じて保全を呼びかけている。毎年 4 回から 7 回程度の干潟観察会を実施。各回 60 名から 80 名が参加。干潟の生き物等のジュニア研究発表会を毎年実施。2016 年からは連携先の協賛・助成でジュニアによる実験のデモンストレーションやサイエンスショー、大学生によるトークショー、民間企業・公的機関による体験コーナー等が加わった「広島ジュニアサイエンスフェア（通称じゃすふぁ）」を開催。研究集録や広島デルタのカニ図鑑下敷きを発行。		
主な活動内容	調査研究 研修会・学習会 その他（研究発表会）		
実施体制	単独 ☒ 連携（マツダ財団、広島・地域から「体験の風を起こそう」運動推進実行委員会）		
最近の主な活動実績	2017 年度 ・干潟観察会 5 回（406 名）、ボランティア養成研修会 22 回（210 名） ・第 2 回ジュニアサイエンスフェア（じゃすふぁ） 参加者 442 名 ・写真展 10 回（広島市東区全公民館、五日市中央公民館、広島中央公民館） ・ジュニア研究者の野外での観察、室内での研究の様子がテレビ報道。 ・「日本学生科学賞全国審査」で「日本科学未来館賞」受賞。		
	2018 年度 ・干潟観察会 5 回（390 名）、ボランティア養成研修会 18 回（190 名） ・石垣島・西表島キャンプ（33 名）で多様な自然や動・植物等、新たな自然観を得た。 ・研究も多様化し、全国レベルの賞が続出。テレビ報道 5 回。 ・第 3 回広島ジュニアサイエンスフェア（じゃすふぁ）（480 名） 【特記】 ・2017 年 7 月 23 日 第 4 回観察会を江田島市江田島町荒代海岸で実施。参加者 135 名。 各自のトラップでウミホタルを捕獲し、発光実験後放流。 アカテガニの産卵や夜行性動物の生態観察も実施。 ・2018 年 1 月 6 日 第 2 回広島ジュニアサイエンスフェア（じゃすふぁ） ジュニアの口頭発表 8 テーマ、ポスター発表 31 件。参加者 442 名。 研究発表は「干潟のカニの乾燥対策」、「タマキビたちと水の関係」、「等脚類の行動と生態」、「魚類の縄張り行動」など海辺の生き物関連も豊富。		
			
活動継続のための手法	資金：干潟観察会は予算なし。研究発表会は、共催者の広島・地域から「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会からの予算と、マツダ財団の助成による。両者の補助がないと、運営は困難である。 人材育成：干潟観察会では、ジュニアが受付業務と注意の伝達を担当している。今後、自然解説もしだいに任せようと考えている。 研究発表会関連は、裏方を事務局が行うが、当日の司会、研究発表、ポスター発表、実験コーナー、サイエンスショー等はほとんどすべてジュニアに任せており、定着している。 連携方策：広島には環境保護団体や観察会を継続している団体は多数あるが、目的や趣旨が異なったりするため、現在のところ連携を模索はしていない。 その他：せっかく育ったジュニアが、進学とともに県外に出てしまうため、後継者不足である。		
活動の効果	干潟観察会が、初期には応募は 20 名程度であったが、現在は 80 名程度が毎回応募する状況となっている。ウミホタル観察会は夜間であるが、過去 2 回とも 120 名以上となっている。口コミで広がっているようであり、気運は上昇気味である。先日の発表会も、480 名が参加した。		
関連する生物種、希少種等 ☐ は希少種			
○植物： <u>フクロ</u> 、ハママツナ、ヨシ、ハマヒルガオ、 <u>ハマサシ</u> ○動物： <u>ハクセンシオマネキ</u> 、 <u>スナガニ</u> 、 <u>ハマガニ</u> 、 <u>ハサミジャコエビ</u> などのエビカニ類。タマキビ、アラレタマキビ、マルウスラタマキビなどの潮間帯の貝類。ウミホタルなどのプランクトン。 希少種：フクロ、ハマサシ（国：準絶滅危惧、県：準絶滅危惧） ハクセンシオマネキ（国：絶滅危惧Ⅱ類、県：準絶滅危惧） スナガニ（県：準絶滅危惧）、ハマガニ・ハサミジャコエビ（県：要注意種）			
			

三角浜の海浜清掃

(事例 No. ①9)

海・浜辺の名称	長浜第一公園の海岸（三角浜）	所在地	広島県呉市広長浜	
景観の特徴	砂浜・礫浜			
海・浜辺の紹介		 本海岸は、呉市の南東部に位置し、前は穏やかな瀬戸内海、後は螺が峰という山が迫る自然環境豊かな所にある。以前は海水浴場でもあり、砂浜の海岸とその両端には岩礁がある。現在では、瀬戸内海や四国を望むことができる公園として地域においても親しまれている。		
活動団体名	呉市立広南中学校			
連絡先住所	〒737-0136 呉市広長浜4丁目1番9号	Email	hirmc@kure-city.jp	
		HP	http://www.kure-city.jp/~hirmc/index.html	
代表者名	校長 若本 正	会員数	56名（全生徒数）	
活動の経緯及び概要	平成26年から年3回の清掃活動を実施している。 長浜地区・小坪地区の2地区で防波堤や港等で清掃活動を行っていたが、今年度（平成30年）からは、長浜地区の1地区で海浜清掃を行っている。 海岸で海浜清掃の実施			
主な活動内容	清掃			
実施体制	単独 <u>連携</u> （自治会と連携）			
最近の主な活動実績	平成30年4月2日 (活動内容) 海岸で生徒会交流（新入生歓迎会）として弁当昼食とレクリエーションを全校生徒で実施後、地域の協力も得ながら海浜清掃を行った。 ※8月下旬にも清掃活動を予定していたが、7月の豪雨災害のため延期。 			
活動継続のための手法	人材育成：・瀬戸内海を臨む地域に住む児童生徒が、せとうち海援隊のメンバーとして美化活動を行うことにより、瀬戸内海の環境美化に努める心と態度を育てる。 ・美化活動を通して、「ボランティアの精神」を身に付けさせると共に、地域を大切に思い行動できる態度を育てる。 連携方策：自治会長と連携し、清掃活動の日時を調整している。			
活動の効果	参加した生徒の多くは生き生きと活動し、地域の環境保全に貢献できたことに満足していた。			
その他	課題としては、地域の自治体との共同作業にするための日程の調整が難しかった。			
		関連する生物種、希少種等 は希少種		
生物種：未調査 希少種：未確認				

干汐海岸の清掃活動

(事例 No. ②①)

海・浜辺の名称	向島 ^{ひしお} 干汐海岸	所在地	広島県尾道市向島町
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介	干汐海岸は、瀬戸内海に浮かぶ向島東側に位置する海岸で、瀬戸内海の島々が見渡せ、大変景色の良い海岸である。近くに向島町漁業協同組合があり、養殖漁業や栽培漁業が行われている。また、干汐海岸ではアサリの養殖も行われていて、貝掘りに多くの人が訪れている。		
活動団体名	尾道市立高見小学校		
連絡先住所	〒722-0073 尾道市向島町 2116 番地 3	Email	takami-e@onomichi.ed.jp
		HP	
代表者名	楠見 仁美	会員数	105 名
活動の経緯 及び概要	児童会が中心となって、子供達や保護者が干汐の海岸清掃を、毎年継続して行っている。6 月と 11 月に全校児童と保護者が地域の方と一緒に干汐海岸の清掃活動を行う。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携 (江奥社会福祉協議会)		
最近の主な 活動実績	・平成30年6月23日 (活動内容) 全校児童と保護者が干汐海岸の清掃活動を行った。 海岸の草を取ったり、ビニール等のゴミやガラス、 陶器等のかけらを回収したりした。		
活動継続のため の手法	資金：主には高見小学校の清掃用具や各家庭から持参した清掃用具を用いて清掃活動を行っている。 今年度はせとうち海援隊支援事業より、軍手や火ばさみ等をいただいた。 人材育成：子供達に、ふるさとの海を自分達で守ろうという意識が高まるよう、児童会を中心に 取組を進めていく。 連携方策：PTA や江奥社会福祉協議会と連携し、子供達と一緒に清掃活動をしていただく。		
活動の効果	干汐海岸が清掃活動により、ゴミのないきれいな海岸になるとともに、高見小学校の子供達に「地域の海を大切にしよう」という気持ちが高まった。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種：未調査 希少種は存在しない。			

地域活動

(事例 No. ②1)

海・浜辺の名称		しやごしの浜		所在地		広島県福山市内海町浜沖	
景観の特徴		砂浜・礫浜					
海・浜辺の紹介 広島県福山市の南部に位置する田島と横島からなる内海町。横島の沖浜地区にある砂浜で全長が200mほどある。潮がひいたときには砂地の藻場がある。昔から内海小学校の児童が清掃を行ってきた。 							
活動団体名		福山市立内海小学校					
連絡先住所		〒722-2641 広島県福山市内海町73番地		Email		Shou-utsumi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp	
				HP		www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/s/hou-utsumi	
代表者名		河村 啓司		会員数		児童 46 名 教職員 13 名	
活動の経緯及び概要		20年ほど前、総合的な学習の時間の一環として、地域の清掃活動を行う内海小学校3年生が警告書が貼られた船を見て、期限が過ぎても撤去されないのを不思議に思い、港湾課に一通の手紙をファックスで送った。この手紙がきっかけで港湾課や福山市、自治会などにより浜がきれいになった。それ以来小学校の取組の一つとして年に2回の浜清掃を行うようになった。年間2回（5月と10月）地域の浜辺を「地域活動」と題して全校児童と教職員で清掃活動を行っている。					
主な活動内容		清掃 調査研究					
実施体制		単独 連携（ ）					
最近の主な活動実績		・2018年5月1日 （活動内容） 「地域活動」砂浜の清掃活動。 ・2017年10月20日 （活動内容） 3・4年生による生き物調査					
活動継続のための手法		資金：活動資金は、主にゴミ袋代である。学校の活動経費の範囲内で賄っている。活動維持に必要な経費はゴミ袋代と児童の車手代は必要である。 人材育成：毎年5月と10月の2回浜の清掃を行っている。時間は1時間と決めて班ごとで行っている。上級生が下級生の面倒を見ながら、ゴミの分別等を教えている。 連携方策：他の学校や地域の自治体との連携はないが、是非地域との連携をとりたいと思っている。					
活動の効果		学習で砂浜や海に行ったときに、ゴミが気になる児童が増えた。上級生が下級生に教えるというタテのつながりができた。					
その他		今後は学年ごとで海辺に行く機会を増やしていき、「自分達の住む故郷をいつまでもきれいに守っていきたい。」と思う児童を一人でも多く育てていきたい。					
関連する生物種、希少種等 は希少種							
○野鳥： サギ ○動物： ヤドカリ、カニ、ベラ、イソギンチャク、ウミウシ、ヒトデ、巻き貝 等 							

(事例 No. ②②)

海・浜辺の名称	広島県 県民の浜海水浴場 / 呉市 狩留家海浜公園	所在地	広島県呉市蒲刈町大浦 7865 / 広島県呉市狩留家長 1-1
景観の特徴	海水浴場		
海・浜辺の紹介	県民の浜海水浴場・・・呉市蒲刈町にある県内有数の海水浴場。きれいで穏やかな海が特徴。広々とした砂浜は夏には大勢の海水浴客で賑わう。 狩留家海水浴場・・・呉市狩留家町にある海水浴場。JR 呉線（かるが浜駅）から徒歩 2 分という好立地にある。		
活動団体名	富士ゼロックス広島フィッシングクラブ		
連絡先住所	〒733-0827 広島市南区稲荷町 2-16	Email	t.oomae@hsx.fujixerox.co.jp
		HP	www.fujixerox.co.jp/hsx
代表者名	大前 俊彦	会員数	31 名
活動の経緯及び概要	富士ゼロックス広島フィッシングクラブは釣り好きの社員で構成されたクラブです。日々楽しく釣りができる環境に感謝し、これから 10 年後、30 年後、100 年後もきれいな環境を継続したいという願いから活動を実施しています。清掃活動の際には、当フィッシングクラブから全社員に声掛けを実施。社員のみならず家族での参加もあります。 2 回/年のペースで海岸清掃活動を実施しています。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 連携（ ）		
最近の主な活動実績	・2017 年 11 月 25 日 (活動内容) 海岸清掃 ・2018 年 6 月 9 日 (活動内容) 海岸清掃  		
活動継続のための手法	資金：自己資金、広島ゼロックスフィッシングクラブ会費 人材育成：クラブメンバーのみならず、富士ゼロックス広島社員会と共催し全社員及びその家族を対象に実施しており、幅広い世代に環境保護・保全の啓蒙を実施。 連携方策：自社ホームページ地域貢献紹介ページに当活動を掲載。 その他：清掃活動後に BBQ などのイベントを同時開催、社員とその家族の親睦を深め社員の満足度向上に寄与している。		
活動の効果	活動開始してまだ 2 年ですが、当クラブの活動を理解いただいた社員、その家族は継続的に参加しており環境保全への関心が高まっている。特に広島市は多くの河川が存在しそこから瀬戸内海に通じていることもあり、普段の生活圏からの環境保全（街の美化活動）への意識も高い		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
生物種：未調査 希少種：未確認			

虹ヶ浜海岸のクズの撤去作業及び海岸清掃 (事例 No. ②③)

海・浜辺の名称	虹ヶ浜海岸	所在地	山口県光市
景観の特徴	砂浜・礫浜、海水浴場、海岸植生（白砂青松等）		
海・浜辺の紹介	島田川の河口にあり、白砂青松の海岸が 2.3km にわたって続く遠浅の海水浴場で、干潮時には幅 50m ほどの干潟が現れる。 環境省による「快水浴場百選」や、「白砂青松百選」にも選ばれている。 また、一部が瀬戸内海国立公園に指定されている。		
活動団体名	ひかりエコメイト		
連絡先住所	〒743-0031	Email	hlyabu@iris.ocn.ne.jp
	山口県光市虹ヶ丘 7-2-9	HP	—
代表者名	藪 博昭	会員数	13 名
活動の経緯及び概要	虹ヶ浜海岸の東部（西の河原川河口から島田川河口）の砂浜は、つる性の植物のクズが繁茂している。美しい景観を阻害し、貴重な海浜植物の成長と保全の障害となっていることから、美しい自然豊かな虹ヶ浜海岸をリフレッシュするために、「クズ」の撤去作業を行うとともに、海岸清掃を行う。		
主な活動内容	清掃・植生保護・学習会		
実施体制	単独 連携 （島田川の豊かな流域づくり連絡会議）		
最近の主な活動実績	平成 31 年 2 月 17 日 （活動内容） 地元自治会、周辺企業、高校生、大学生、島田川の豊かな流域づくり連絡会議の委員、関係行政機関約 70 名が参加し、クズの撤去作業及び海岸清掃を実施した。また、大学生による座談会（海浜植物の保全について）などを実施した。		
活動継続のための手法	資金：主に助成金を獲得している。環境保全活動に対する助成金制度は数が限られるため、毎年資金獲得に苦慮している。イベント等に使用する消耗品費が主な経費である。 人材育成：一人でも多くの方に自然に興味を持ってもらえるよう、地元住民を巻き込んだ活動を行っている。また、高校、大学にイベントへの参加を呼びかけ、次世代を担う人材の環境教育に努めている。 連携方策：島田川の豊かな流域づくり連絡会議の委員として、島田川流域で活動する他団体と連携した活動を行っている。		
活動の効果	参加人数の増加（特に高校生等若い世代の参加者が増加） 自然環境への意識向上		
関連する生物種、希少種等		 は希少種	
ハマヒルガオ、ハマゴウ、ハマダイコン、オカヒジキ、ツルナ、コウボウムギ、ハマエンドウ、ハマボウフウ、アキノミチャナギ、コウボウシバ、ハマナデシコ			
ハマオモト （⑤絶滅危惧Ⅱ類）、ケカモノハシ			

「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃

(事例 No. ②④)

海・浜辺の名称	下関市長府浜浦町地先の自然海浜	所在地	下関市長府浜浦町
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介	関門海峡沿いの自然海浜 「日本の音風景100選」関門海峡の潮騒と汽笛 ※福岡県北九州市、山口県下関市の両市に該当。 		
活動団体名	下関海の日協賛会		
連絡先住所	〒750-0066 下関市東大和町 1-10-50	Email	kwshinko@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
		HP	www.shimonoseki-port.com/jp/index.htm
代表者名	下関海の日協賛会 会長 前田晋太郎	会員数	28
活動の経緯 及び概要	「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃は、瀬戸内海沿岸の市町村などが会員となっている「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の主催により平成5年以来毎年行われている海岸清掃活動で、協議会の会員都市である下関市では26回目の実施となりました。 瀬戸内海沿岸の107の市町村と11府県の会員と協議活動をサポートする国土交通省地方機関から成る「瀬戸内・海の道ネットワーク推進協議会」の活動を広く一般の人に認知してもらうとともに、海浜の清掃により参加者の美しい瀬戸内を守っていく意識の向上を図る。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携 (下関港湾協会、下関港運協会、地元関係者、国、市職員)		
最近の主な活動実績	・平成30年8月5日 (活動内容) この「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃は、平成5年以来、毎年行われている海岸清掃活動で、瀬戸内海沿岸の市町村などが会員となっている「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の主催により「受け継ごうきれいで豊かな瀬戸の海」というスローガンのもと各地域で一斉に行われています。 下関市では25回目の実施となりました。 本市ではボランティアの方々約200名が参加し、約3トンのゴミを回収しました。 		
活動継続のための手法	資金：・主な活動資金は市の予算。 ・主な経費は廃棄物処理にかかる委託料 連携方策：関連行政団体、地元自治会、漁業協同組合、港湾関係協会に呼びかけている。		
活動の効果	・海岸美化 ・参加者に対する環境意識の醸成		
関連する生物種、希少種等 ☐ は希少種			
生物種：未調査 希少種は存在しない			

有明浜クリーン作戦

(事例 No. ②⑤)

海・浜辺の名称	有明浜	所在地	観音寺市有明町、八幡町、室本町地先	
景観の特徴	海岸植生（白砂青松等）			
海・浜辺の紹介 2kmにわたる白い砂浜が続く遠浅の海岸。 燧灘に沈む夕日は言葉に表せない美しさです。 浜辺には貴重な海浜植物が自生し、春から秋まで可憐な花を咲かせています。				
活動団体名	有明浜を美しくする会			
連絡先住所	〒768-0067 観音寺市一丁目1番6号	Email		
		HP		
代表者名	国土 セツ子	会員数	（母体 13 団体,779 人）随時参加	
活動の経緯 及び概要	希少な人工工作物のない自然海浜に、海浜植物が群生を形成している海岸の保護のため、漂着ゴミ等の清掃活動を一部のボランティアが昭和60年代ごろより継続実施してきた。観音寺市ボランティア協議会が平成7年から、活動を取り込む形で現在に至る。 昭和60年代、地元の一部のボランティアがゴミ拾いを始め、観音寺ボランティア協議会が、ボランティア活動支援事業の一環として、平成7年度より支援し、現在に至る。			
主な活動内容	清掃 植生保護			
実施体制	☒ 単独 連携（			

漂流、漂着物、堆積物処理

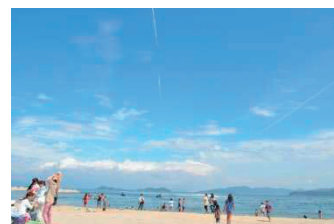
(事例 No. ②⑥)

海・浜辺の名称	観音寺市地先	所在地	燧灘（香川県）
景観の特徴	砂浜・礫浜		
海・浜辺の紹介	【燧灘の紹介】 燧灘は瀬戸内海のほぼ中央に位置し、香川県の庄内半島と愛媛県高縄半島に囲まれた四国側の海域である。ヒラメやクルマエビ等、様々な主要魚介類の産卵場となっている。		
活動団体名	観音寺漁協活動組織		
連絡先住所	〒768 - 0076 香川県観音寺市港町2-6-29	Email	
		HP	
代表者名	薦田 定良	会員数	51 人
活動の経緯及び概要	水産多面的機能発揮対策事業によって、地域の自治体に協力をはたらきかけた。 水産庁の事業で、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する各種活動を支援するものである。その中で、海ごみ（海岸漂着物、漂流ごみ、海底堆積ごみ）の回収・処理も補助対象とされている。 底曳き網漁禁止区域内において底曳き網漁船等を使用して、海ごみの回収作業を行う。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携（観音寺漁協、観音寺市（農林水産課）、香川県（水産課））		
最近の主な活動実績	・平成29年9月～平成29年12月 （活動内容） 海ごみの回収・処理（約6,020kg） 		
活動継続のための手法	資金：香川県水産多面的機能発揮対策地域協議会からの交付金 連携方策：観音寺漁協、観音寺市（農林水産課）、香川県（水産課）		
活動の効果	平成29年度において、平成28年度と比較して対象生物量が5%以上増加。対象生物として、小エビを選定している。 海ごみの減少が確認された。		
その他	今後も海ごみの減少、資源の増大に向けて継続して活動を行っていきたい。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種：未調査		希少種：未確認	

女木島海水浴場の海岸清掃

(事例 No. ②⑦)

海・浜辺の名称	女木島海水浴場	所在地	香川県高松市女木町
景観の特徴	海水浴場		
海・浜辺の紹介	女木島は別名「鬼ヶ島」と呼ばれ、桃太郎伝説の島として知られています。女木島海水浴場は、風光明媚な東洋のエーゲ海と称され、環境省より「快水浴場百選」に選ばれています。青く澄んだ海は透明度が高く、整備された砂浜は柔らかい白砂になっており、波も穏やかです。対岸に位置する、高松市のベイエリア「サンポート高松」や、源平古戦場「屋島」が一望できるなど、水質はもちろんのこと、景観にも優れた海水浴場です。		
活動団体名	鬼ヶ島観光協会・女木コミュニティセンター		
連絡先住所	〒760-0092 香川県高松市女木町 235 番地	Email	onigashima-k@heart.ocn.ne.jp
		HP	http://www.onigasima.jp
代表者名	会長 川井 芳清	会員数	
活動の経緯及び概要	7 月初旬の海開きに向けて海水浴客が安全に遊泳できるよう、砂浜を清掃するため、地元の大学のボランティアサークルと協力して、毎年実施している。女木島海水浴場の海岸沿いのゴミ拾い。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携 (香川大学等)		
最近の主な活動実績	- 平成 29 年 6 月 24 日 (活動内容) 香川大学(42 名)・松山大学(5 名)の学生と連携し、女木島海水浴場の海岸沿いのゴミ拾いを行った。 - 平成 30 年 6 月 24 日 (活動内容) 香川大学(57 名)の学生と連携し、女木島海水浴場の海岸沿いのゴミ拾いを行った。		
活動継続のための手法	資金：ごみ袋については、女木コミュニティセンター、参加者の弁当及び飲み物については、鬼ヶ島観光協会に準備をしている。 人材育成：香川大学ローターアクトクラブ約 50 名の生徒で、毎年 6 月中旬(土曜日)に実施している。 連携方策：香川大学や松山大学、その他周辺の大学と連携して実施している。		
活動の効果	清掃活動によって、ゴミは少なくなり、海開きできる綺麗な状態になっており、大変良好である。		
その他	女木島は、漂流物が多く、1 日や 2 日ではすべての範囲を清掃するのは難しいのが現状である。近年、台風の接近が多く、その度に大量のごみが漂流している。そのため、1 年に 4 回程度、本格的に海岸清掃をお願いすることも検討している。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種：未調査 希少種：未確認			



リフレッシュ瀬戸内

(事例 No. ②⑧)

海・浜辺の名称	坂出海岸沙弥地区、松ヶ浦海岸等	所在地	坂出市沙弥町、大屋富町等
景観の特徴	砂浜 岩礁 海水浴場 その他 (港湾)		
海・浜辺の紹介 香川県のほぼ中央に位置し、数個の離島を包含して備讃瀬戸を臨む坂出市の海岸線は番の州地区を代表とした臨海工業地帯としての役割もある一方、沙弥地区には、海水浴場も存在するなど、多様な特性を有している。			
活動団体名	坂出市（瀬戸内・海的路ネットワークの加盟団体）		
連絡先住所	〒762-8601 坂出市室町二丁目3番5号	Email	
		HP	
代表者名		会員数	
活動の経緯及び概要	瀬戸内海に面する自治体等で構成する「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会」が、平成5年度より、海浜の清掃活動として「リフレッシュ瀬戸内」を実施しており、本市も加盟団体として参加し、6/1～8/31の間、年1回の清掃活動を実施している。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携 (瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会)		
最近の主な活動実績	・平成29年7月1日 (活動内容) 坂出市沙弥町から大屋富町までの坂出市内の海岸において、地元の自治会、小中学校、企業等の協力を得て、平成29年度は、約580人が参加し、海浜清掃活動等を実施している。同活動により、約3tのごみを収集し、海浜環境の保全に貢献している。		
活動継続のための手法	資金面 : 清掃活動に必要な清掃用具(ゴミ袋、ゴミばさみ、竹箒、熊手)は香川県土木部河川砂防課が必要量を準備しており、また、清掃活動への参加人員については地域住民、地元協力企業、市職員等にボランティアを募っている。したがって、当該事業実施にあたって本市の予算措置はしていない。 人材育成: 市職員の参加および市民ボランティアの参加により、地元の海浜の環境をみんなで守っていく意識を共有している。 連携方策: 地元の自治会、小中学校、企業等の協力を得て、平成29年度では、約580人が参加し、海浜清掃活動を実施している。		
活動の効果	海浜の清掃活動の実施により、平成29年度においては、約3tのごみを収集している。同活動を通じて、海浜環境の保全および啓発に貢献している。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種: 未調査 希少種: 未確認			

(事例 No. ②⑨)

海・浜辺の名称	坂出港港湾区域等	所在地	坂出市
景観の特徴	その他（ 港湾 ）		
海・浜辺の紹介 坂出港港湾区域は、香川県のほぼ中央に位置し、数個の離島を包含して備讃瀬戸を臨み、東西約 3.5 キロメートルの海岸幅を有している。同港湾区域は、番の州地区を代表とした臨海工業地帯としての役割を担っている。			
活動団体名	坂出清港会		
連絡先住所	〒762-8601 坂出市室町二丁目 3 番 5 号	Email	
		HP	
代表者名		会員数	地元企業 71 社
活動の経緯及び概要	坂出港の港頭地帯並びに港湾地区および附近海面における清掃、漂流物の除去等に関する事業を行い、もって船舶交通の安全と環境の保全、公衆衛生の向上に資することを目的として、昭和 55 年度より、港頭地帯・公共埠頭・臨海道路等公共施設などの陸上清掃および坂出港内の海上清掃を実施している。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 連携（ ）		
最近の主な活動実績	・平成 29 年度海上清掃事業（年 6 回実施、直近では 3 月 26 日実施） （活動内容） 平成 29 年度は、年 6 回、坂出港内の海上清掃を 3 名から 5 名の人員を動員し、坂出港内の海上清掃を実施した。同年度の清掃では、約 5,250kg のごみを収集した。 ・平成 29 年度陸上清掃事業（年 12 回、毎月第 4 火曜日、直近では 3 月 27 日実施） （活動内容） 平成 29 年度は、毎月第 4 火曜日、港頭地帯及び公共埠頭、臨港道路等陸上公共施設の清掃作業を、計 12 回実施した。なお同年度の清掃では、約 14,020kg のごみを収集した。		
活動継続のための手法	資金：地元企業 71 社から構成する会員の会費および市からの補助金を主な活動資金としている。 人材育成：会員の参加により、地元の海・海浜の環境をみんなで守っていく意識を共有している。 連携方策：陸上においては会員の参加のもと、毎月第 4 火曜日に清掃を実施し、海上においては年 6 回程度、清掃を実施している。		
活動の効果	同事業において、平成 29 年度において、陸上清掃では約 14 t、海上清掃では約 5 t のごみを収集している。同活動を通じて海・海浜環境の保全に貢献している。		
関連する生物種、希少種等 は希少種			
生物種：未調査 希少種：未確認			

クリーン伊予運動他

(事例 No. ③⑩)

海・浜辺の名称	森の大谷海岸	所在地	伊予市森
景観の特徴	海食崖・洞		
海・浜辺の紹介	森の大谷海岸は、約 1,800mにわたり地質学上第三紀に属する粘土質岩が露出し、断崖をなしている。またシジミやタニシ等の貝の化石も発見されている。この地層から多くの埋もれ木が出ており、「扶桑木」（県指定天然記念物）と呼んでいる。数百年前のメタセコイア、トガサワラ、オオバラモミの古代植物が炭化したもので、学術的にも貴重なもの。太古から「扶桑の郷」といわれるほどの大森林地だった。 		
活動団体名	・伊予農業高等学校 ・伊予市環境保全課 ・ふれあいクラブ ・伊予市愛護班連合会		
連絡先住所	〒799-3193 伊予市米湊 820 番地	Email	
		HP	
代表者名	環境保全課	会員数	
活動の経緯及び概要	「海の日」制定を機に、以前より実施していた海岸清掃活動を「クリーン伊予運動」と呼称を改め実施している。大谷海岸を含む森地区の海岸のボランティア清掃（ごみ拾い）を定期的に行っている。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	単独 ☒ 連携（ボランティア清掃を行う団体・個人に対し、ごみ袋の提供と清掃後のごみ収集を行う。）		
最近の主な活動実績	・平成 30 年 4 月 24 日（ふれあいクラブ） ・平成 30 年 5 月 1 日（ふれあいクラブ） ・平成 30 年 5 月 11 日（伊予農業高等学校） ・平成 30 年 5 月 26 日（伊予市愛護班連合会） ・平成 30 年 7 月 15 日（クリーン伊予運動） ・平成 30 年 9 月 2 日（松山北ライオンズクラブ） （活動内容） 大谷海岸を含む森地区の海岸清掃（ごみ拾い）		
活動継続のための手法	資金：・市行事については、公費負担。 ・他団体については、不明。 人材育成：・クリーン伊予運動については、地域団体の長や広報を通じて活動への協力を呼びかけている。 連携方策：・各団体の清掃活動については、環境保全課に事前に活動について報告がある行事については、回収用のごみ袋を配布し、活動後のごみの収集を行っている。 その他：・活動時期、活動内容、公費負担分など総合的に見直しを図りたいと検討している。		
活動の効果	・各団体の定期的な清掃活動により、環境の保全が図られていると認識している。		
その他	海岸部の自然環境を保全するためにも、各団体が無理の無い範囲で、活動が継続できるよう支援していきたいと考えている。		
関連する生物種、希少種等		☐ は希少種	
生物種：未調査	希少種：未確認		

(事例 No. ③①)



海岸清掃 枯松の撤去 松の植栽

(事例 No. ③2)

海・浜辺の名称	松原海岸 (松原海水浴場)	所在地	愛媛県上島町弓削下弓削 1002 番地 地先
景観の特徴	渚・白砂青松(砂浜・礫浜・海水浴場)		
海・浜辺の紹介	白浜青松の言葉がぴったりの風景が広がる弓削島の名勝地「法王ヶ原」の森林の東側に海水浴場があり、松林の背後に美しい砂浜が弧を描き、水質もよく「快水浴場百選」に選定されている。キャンプ場もあり気軽にアウトドアが楽しめ、遠く中国地方から海水浴に来られる人も多い。 		
活動団体名	上島町		
連絡先住所	〒794-2506 愛媛県上島町弓削下弓削 1037-2	Email	shoko-kanko@town.kamijima.ehime.jp
		HP	http://www.town.kamijima.lg.jp
代表者名	宮脇 馨	会員数	
活動の経緯及び概要	国立公園指定公園であり、県指定の名勝地でもある松原の景観を保全するため砂浜・松林の清掃、枯松の撤去工事の発注 松植栽工事の発注 松くい虫防除の薬剤散布		
主な活動内容	清掃 植生保護		
実施体制	☒ 単独 ☐ 連携 ()		
最近の主な活動実績	・令和元年6月22日 (活動内容) 地区住民が集まったの海岸清掃を実施 		
活動継続のための手法	資金：松くい虫防除は国の補助金、枯れ松伐採は町費で賄った。 人材育成：樹木医・造園業者からの指導や保全作業の資料で行っている 連携方策：行政と地域（松原と隣接する弓削神社の宮司と宮総代）で定期的に保全のための協議を行っている。		
活動の効果	本格的な保全活動は今年度からのため、効果は今後現れると思われる。		
関連する生物種、希少種等 ☐ は希少種			
○植物：マツ 希少種：未調査			

(事例 No. ③③)

海・浜辺の名称	高須海岸	所在地	愛媛県西条市高田
景観の特徴	渚（砂浜・礫浜）		
海・浜辺の紹介			
高須海岸は、燧灘に面する約900mの砂浜で、干潟では海苔養殖や潮干狩りが行われており、隣接する河原津海岸を含めた一帯はカブトガニの繁殖地として県の天然記念物に指定されている。また、海洋生物の多様性の保全、海洋の持続可能な利用の推進を目的として、国から「生物多様性の観点から重要度の高い海域」に指定されている。			
活動団体名	西条市海事振興会		
連絡先住所	〒793-8601 西条市明屋敷164番地	Email	kowankasen@saijo-city.jp
		HP	
代表者名	星加 隆夫	会員数	36名
活動の経緯及び概要	瀬戸内海沿岸の自治体等で組織する「瀬戸内海の路ネットワーク推進協議会」の環境事業活動の一環として平成5年から西条市で実施している。 「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」をキャッチフレーズに美しい瀬戸内を守っていくことを参加者をはじめとして、多くの人々に訴えていくために、瀬戸内海沿岸の自治体等で組織する「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の環境事業活動の一環として、地元住民や協力企業等のボランティアにより毎年1回浜辺の清掃活動を実施している。		
主な活動内容	清掃		
実施体制	☒ 単独 ☐ 連携（ ）		
最近の主な活動実績	- 平成30年7月1日 （活動内容） 参加者500名、ゴミ約4トン回収 - 平成29年7月2日 （活動内容） 参加者500名、ゴミ約4トン回収 		
活動継続のための手法	資金：主な活動資金は、西条市海事振興会の事業予算による。 活動維持に必要な主な経費は、飲物、火ばさみ、軍手の購入代金。 連携方策：市のホームページやFacebookを活用し参加を呼びかけている。		
活動の効果	長年にわたる継続した活動により、参加者の輪が広がっていると同時に、環境保全に関する意識の定着がみられる。		
関連する生物種、希少種等 ☒ は希少種			
○野鳥：シギ、チドリ ○植物：未調査 ○動物：カブトガニ カブトガニは2億年以上前から生息しており「生きている化石」といわれている。 かつては東予地区海岸一帯が「カブトガニ天国」と言われるほどの繁殖地であったが現在は周辺での埋立て等、環境の変化により当海岸での生息は確認されていない。 高須海岸に隣接する海岸の一部区域において、幼生の放流や生息に適した海岸を維持していくために海岸清掃等の保護活動が行われている。2014年には、雌の成体を保護、2018年には、幼生のカブトガニ生息が確認されており、カブトガニ保護活動の成果が表れている。 			

瀬戸内の海・浜辺に係る主な自然景観百選等の事例紹介

府県名	白砂青松百選	渚の百選	快水浴場百選	日本の夕陽百選	日本百景	せとうち風景 30 選
大阪府	二色の浜公園			サザンビーチ マーブルビーチ びちびちビーチ せんなん里海公園 新夕陽ヶ丘 シーサイド・ア・ムナド 長松海岸 等		二色の浜海岸 小島・長松自然海浜保全 地区 大阪湾オズ岸壁 堺・泉北港
兵庫県	須磨海浜公園 須磨浦公園 高砂海浜公園 慶野松原 大浜公園 吹上の浜	須磨海岸 慶野松原海岸	浦県民サンビーチ 大浜海水浴場 慶野松原	慶野松原 赤穂御崎	赤穂御崎	慶野松原 生島 須磨海岸 小赤壁
和歌山県		白崎海岸	片男波海水浴場 浪早ビーチ	和歌浦 白崎海洋公園 戸津井漁港		番所庭園からの夕日 鷺ヶ峰コスモスパーク からの景色
岡山県	渋川海岸	渋川海岸 沙美海岸	渋川海水浴場	牛窓町 鷺羽山	下津井海岸	「日本のエーゲ海」牛窓 「鷺羽山」からの眺望 金甲山からの眺望
広島県	桂浜 包ヶ浦	ロマン・ビーチ県 民の浜 恋が浜 桂浜	県民の浜海水浴場		忠海海岸	宮島沿岸 鞆の浦 広島湾と広島市街地（絵 下山） 芸予諸島海域
山口県	室積・虹ヶ浜海岸	室積・虹ヶ浜海岸	片添ヶ浜海水浴場 室積海水浴場 虹ヶ浜海水浴場	きららビーチ	室積湾	嵩山 関門海峡（火の山）
徳島県		北の脇海岸			鳴門	鳴門の渦潮 吉野川河口域
香川県	白鳥神社の松原 津田の松原 観音寺松原	津田の松原 有明海岸	女木島海水浴場 沙弥島海水浴場 本島泊海水浴場	小豆島、女木島 屋島 琴弾公園 仁尾海岸 父母ヶ浜海岸		屋島 沙弥（ナカダ浜）
愛媛県	志島ヶ原海岸	桜井海岸 須ノ川海岸	松原海水浴場	恋人岬 上灘漁港		来島海峡 佐田岬
福岡県	三里松原		波津海水浴場			椎田海岸 簗島・長井海岸 若松北海岸
大分県	奈多海岸	黒ヶ浜海岸	奈多・狩宿 黒島 瀬会	真玉海岸		観音崎 速吸の瀬戸

注：各百選等の選定元は下記の通り。

白砂青松百選：(社)日本の松の緑を守る会が 2014 年に選定

渚の百選：(一社)大日本水産会などが作る選定委員会が 1996 年に発表

快水浴場百選：2006 年環境省選定

日本の夕陽百選：NPO 法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会が選定（但し海・浜辺関連のみ紹介）

日本百景：1927 年に大阪毎日新聞社、東京日日新聞社主催、鉄道省後援で選定

せとうち風景 30 選：瀬戸内海環境保全協会設立 20 周年記念事業の一環として 1996 年に選定

海・浜辺の保全の取り組みを行うにあたり、参考となる資料一覧です。保全の取り組みを計画・実施される際にご参考下さい。

海・浜辺の保全の取り組みに参考となる資料一覧

(年代順)

参考資料名	発行元 発行年	概 要
海岸景観形成ガイドライン	国土交通省 農林水産省 2006年2月	平成15年「美しい国づくり政策大綱」の一環として、有識者による「防災・利用と調和した海岸の景観形成のあり方に関する検討委員会」がとりまとめたもの。行政だけでなく、地域住民、海岸利用者、専門家等にも広く活用できるよう作成。良好な海岸景観の形成を図ることを目的として、海岸と生活との関わりを見直し、海岸の潜在的な魅力や課題を発見し、地域の価値向上を図るための海岸の整備や取り組みの方策を記載。理念編は景観検討の必要性や捉え方の基本認識について、実践編は「調査」⇒「構想・計画」⇒「設計」⇒「施工」⇒「景観形成に向けた体制」について段階を追って構成。
海岸漂着危険物ハンドブック	農林水産省農 村振興局・水産 庁 国土交通省河 川局・港湾局 2009年7月	海岸漂着危険物の危険性を子供にも分かりやすいように項目ごとに分けて写真と図で解説。危険物シンボルマークや種別表も掲載。
海岸漂着危険物対応ガイドライン	農林水産省農 村振興局・水産 庁 国土交通省河 川局・港湾局 2009年7月	被害が発生しやすく、海岸漂着危険物対応にあたって混乱が生じやすい危険物漂着時において海岸管理者が行うと想定される初動対応にできるようまとめたガイドライン。参考資料として海岸漂着危険物の事例や対応事例、漂流・漂着ゴミに関連する補助金に関する情報も紹介。
海岸清掃事業マニュアル	環境省 2011年3月	海岸清掃を企画する海岸管理者等の行政機関が容易に適切な手法を用いて海岸清掃を進めていくことができるよう、効果的な海岸清掃方法をマニュアルとして作成。平成19～22年度に実施した漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査等で得られた知見を整理し、容易に適切な手法で用いて進めていくことができるようにとりまとめている。 本編と資料で構成。本編では海岸管理者等が事業として海岸清掃を実施するために必要な準備、実際の清掃作業及び清掃作業終了後の事後作業、技術的事項と費用の積算方法等について記載。資料編では事業として海岸清掃を行う海岸管理者等の参考となるように、海岸清掃事業の実例、清掃対象の海岸の特性、漂着ごみの種類、採用した回収・搬出の方法等を紹介。
自然環境保全基礎調査	環境庁 海岸（海辺）の 調査は右記の 通り	一般に「緑の国勢調査」と呼ばれ、陸域、陸水域、海域の各々の領域について国土全体の状況を調査。このうち藻場・干潟関連は第2回調査（1978）、第3回調査（1984）、第4回調査（1993）、第5回調査（1996）に実施。
瀬戸内海の家浜植物	大阪市立自然 史博物館 2017年7月	瀬戸内海の家浜植物の入門書として作られたミニガイドブック。 瀬戸内海沿岸の家浜植物と内陸に生育するが海浜でもよく見られる植物、計41種を、「①科名 ②和名および ③学名 ④国内分布 ⑤開花時期 ⑥レア度 ⑦生活型 ⑧在来種・外来種」の定型項目と文章と写真で紹介。また塩湿地の植物13種も簡単に紹介。

参考資料名	発行元 発行年	概 要
海ごみ情報サイト https://www.seto.or.jp/etc/umigomi/	瀬戸内海環境 保全協会	瀬戸内海における海洋ごみ対策のための適切な社会システムを実現することを目的にした Web サイト。 平成 18 年度から 3 か年、(独)産業技術総合研究所中国センター、鹿児島大学水産学部、(公社)瀬戸内海環境保全協会、いであ(株)により、瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けた産官学による共同研究「海洋ごみ対策の確立に向けた情報支援システムの構築に関する研究」でわかったこと、その結果から考えられることをとりまとめている。
生物共生型港湾構造物の整備・維持管理に関するガイドライン	国土交通省港 湾局 2014 年 7 月	行政側だけでなく民間の事業者が生物共生型港湾構造物を検討する際にも参考にできる技術資料。 生物共生型港湾構造物の整備に向けて、利用段階・整備段階でのメリット、定義と分類、効果と費用、計画・設計・維持管理の実際とその関連事例を紹介。

<参考>

【海文化委員名簿】

京都府府民環境部環境管理課
兵庫県農政環境部環境管理局水大気課
和歌山県環境生活部環境政策局環境管理課
岡山県環境文化部環境管理課
広島県環境県民局環境部環境保全課
香川県環境森林部環境管理課
愛媛県県民環境部環境局環境政策課
兵庫県漁業協同組合連合会指導部
山口県漁業協同組合指導部
一般財団法人広島県環境保健協会地域活動支援センター

【有識者】

国立研究開発法人水産・教育機構 理事 鷲尾 圭司

瀬戸内における水環境を基調とする海文化
瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み

令和元年10月発行

発行・編集 公益社団法人瀬戸内海環境保全協会
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号
人と防災未来センター東館5階
電話 078-241-7720 FAX078-241-7730
<http://www.seto.or.jp/setokyo/>

